

Ⅱ 和歌山県の農林水産業の動向

1 農業部門

1) 農業指標

本県の総農家数は36,531戸、うち販売農家数25,594戸である。販売農家のうち専兼別の比率は専業36.1%、1種兼業21.1%、2種兼業42.7%で2種兼業農家の比率が高まっている。（2005年「農林業センサス」結果より）

耕地面積は36,800haであり、その利用形態は水田31.0%、樹園地62.0%、普通畑7.0%である。

農業産出額は10,947千万円（構成比：米7.3% 果実61.7% 野菜14.8% 花き5.7% 畜産5.3%）

	平成17年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
総農家	36,531	100.0%	7,423	5,843	4,489	5,488	6,628	5,080	1,580
販売農家	25,594	(100.0)	4,813	4,294	2,943	4,256	5,038	3,547	703
専業	9,250	25.3 (36.1)	1,538	1,373	917	1,731	1,902	1,478	308
1 兼	5,408	14.8 (21.1)	804	943	554	1,147	1,129	778	51
2 兼	10,936	29.9 (42.7)	2,471	1,978	1,472	1,378	2,007	1,291	335
	平成18年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
耕地面積	36,800	100.0%	6,897	5,923	4,553	6,254	6,798	5,373	1,047
水田	11,400	31.0	3,012	2,143	1,203	626	2,342	1,427	690
樹園地	22,800	62.0 (100.0)	3,305	3,575	3,169	5,368	3,586	3,628	154
みかん	8,020	(35.2)	1,985	952	232	3,750	371	722	9
はっさく	1,230	(5.4)	113	586	75	231	188	36	2
うめ	5,440	(23.9)	124	216	221	78	2,534	2,255	11
もも	792	(3.5)	54	585	146	4	3	0	0
かき	2,930	(12.9)	291	674	1,905	37	13	10	3
普通畑	2,570	7.0	547	210	171	255	861	320	203
	平成18年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
農業産出額	10,947	100.0%	1,897	1,992	1,195	2,320	2,148	1,245	152
米	795	7.3	242	152	76	39	148	100	37
果実	6,752	61.7	935	1,318	856	1,887	887	854	17
野菜	1,621	14.8	491	270	75	93	601	50	44
花き	622	5.7	39	97	26	68	329	50	12
畜産	585	5.3	128	χ	χ	97	χ	χ	32

※ ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合があります。

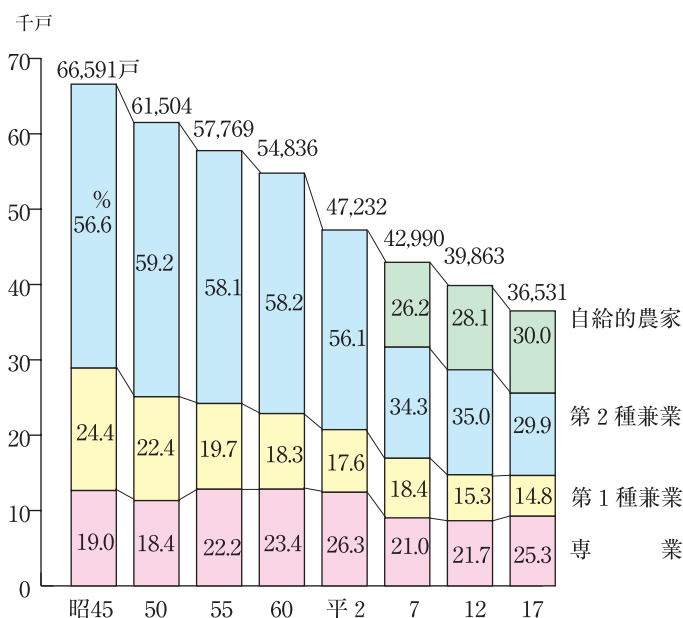
※ 「χ」は、統計法に基づく秘密保護のため、公表されていないものです。

（農林業センサス・農林水産統計年報）

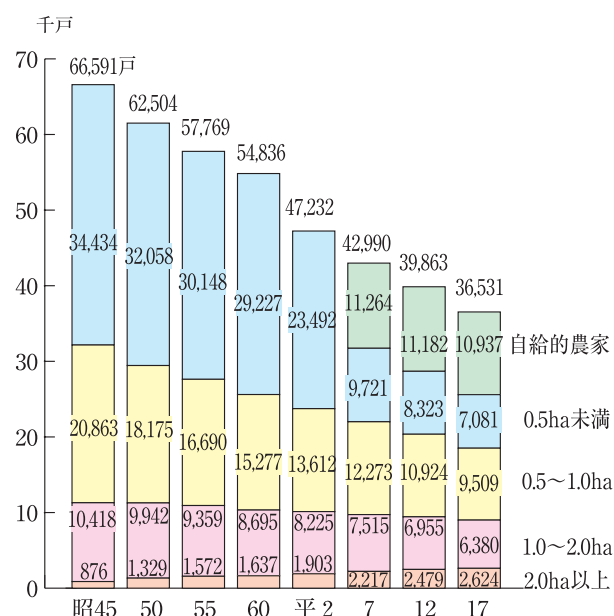
2) 農業を担う人々

平成17年の農家戸数は36,531戸で減少傾向が続いている。経営規模が1ha未満の農家が75.4%を占める。年齢別の基幹的農業従事者では60歳以上の占める割合が63.4%と増加している。平成7年以降、新規就農者数は増加傾向にある。

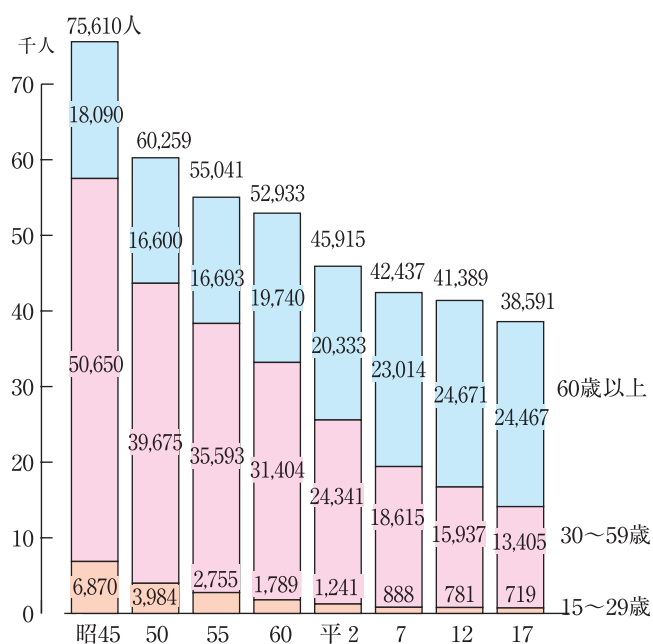
専兼業別農家数の推移



経営規模別農家数の推移



基幹的農業従事者数（年齢別）の推移

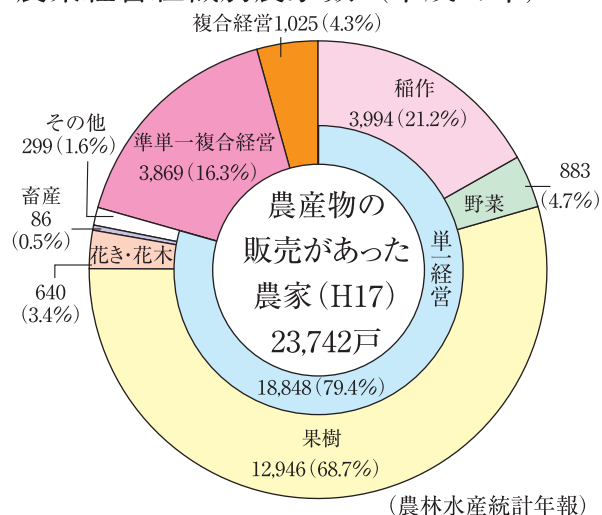


※本調査は、平成8年より調査対象が変更（総農家→販売農家）されていますので、ご利用の際は、ご注意ください。

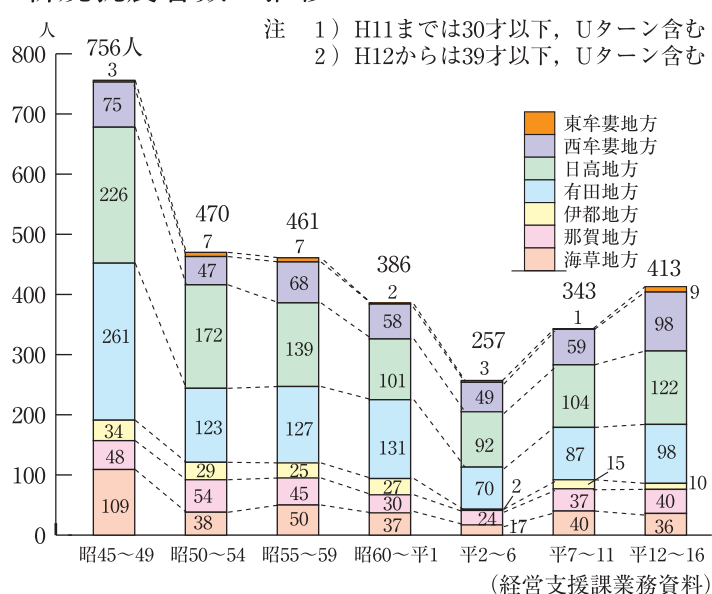
農家数						
〔平17〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
総農家数	2,848,166	36,531	38	1.3	長野	茨城
販売農家数	1,963,424	25,594	36	1.3	茨城	新潟

（農林業センサス・農林水産統計年報）

農業経営組織別農家数（平成17年）



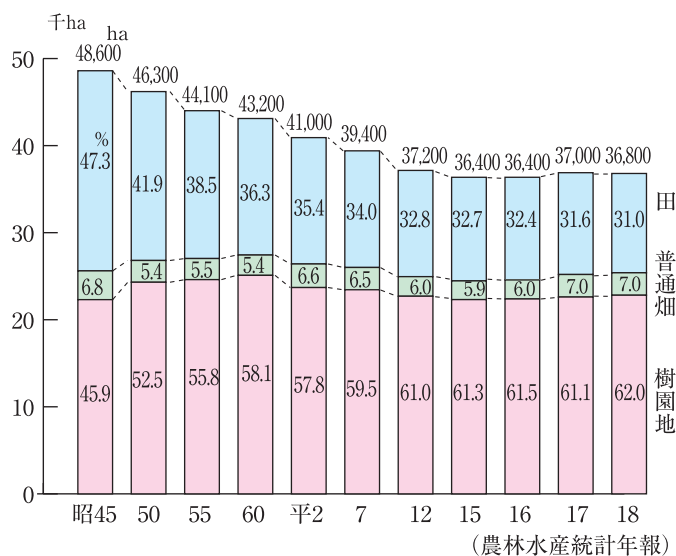
新規就農者数の推移



3) 耕地面積

耕地面積は減少傾向にあるなかで樹園地の比率が高まっている。
施設面積は平成9年の909ha(耕地面積の2.3%)をピークに減少している。

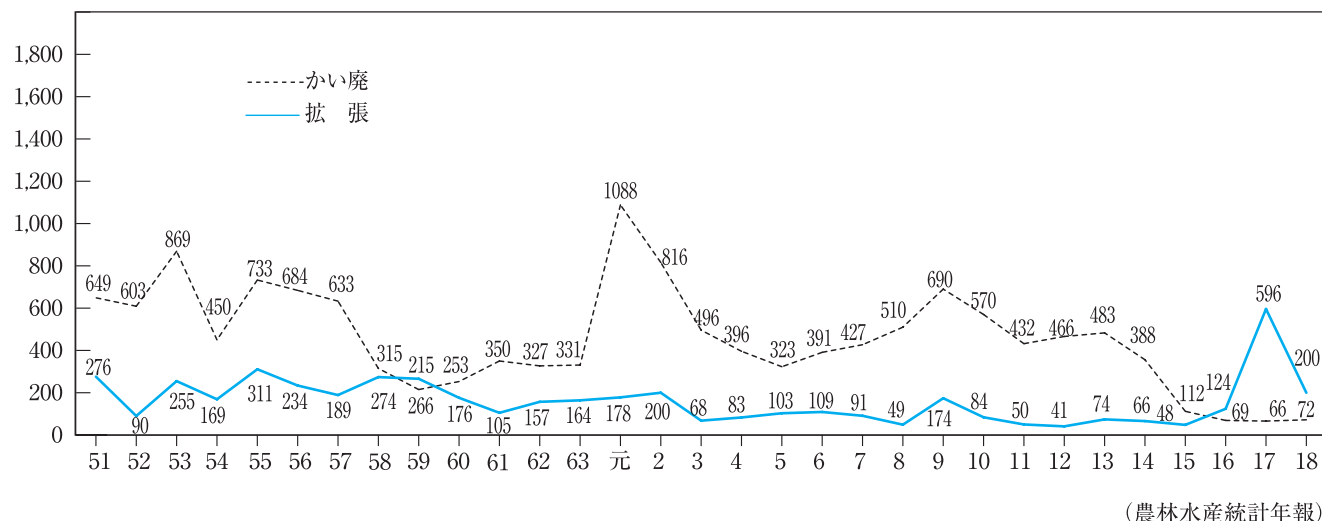
田畑別耕地面積の推移



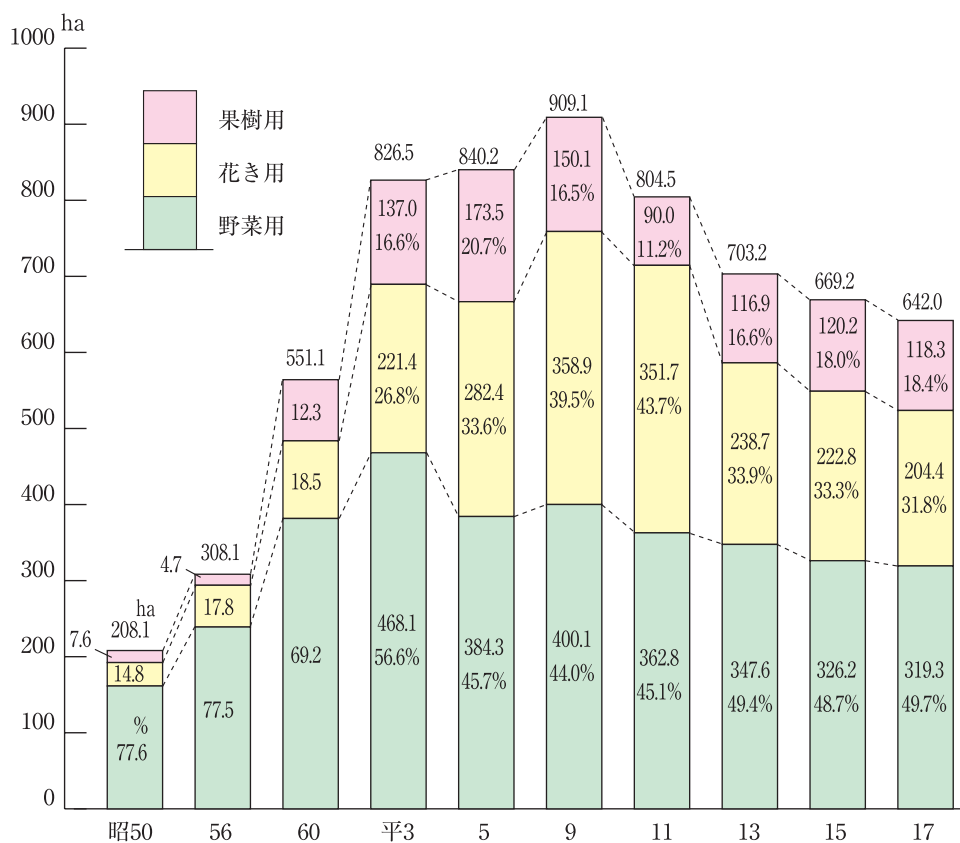
〔平18〕	耕 地 面 積					
	全国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名
耕地面積合計(ha)	4,671,100	36,800	37	0.8	北海道	茨城
田	2,543,000	11,400	42	0.4	北海道	新潟
畑	2,128,000	25,400	21	1.2	北海道	鹿児島

耕地の拡張・かい廃の推移

単位・ha

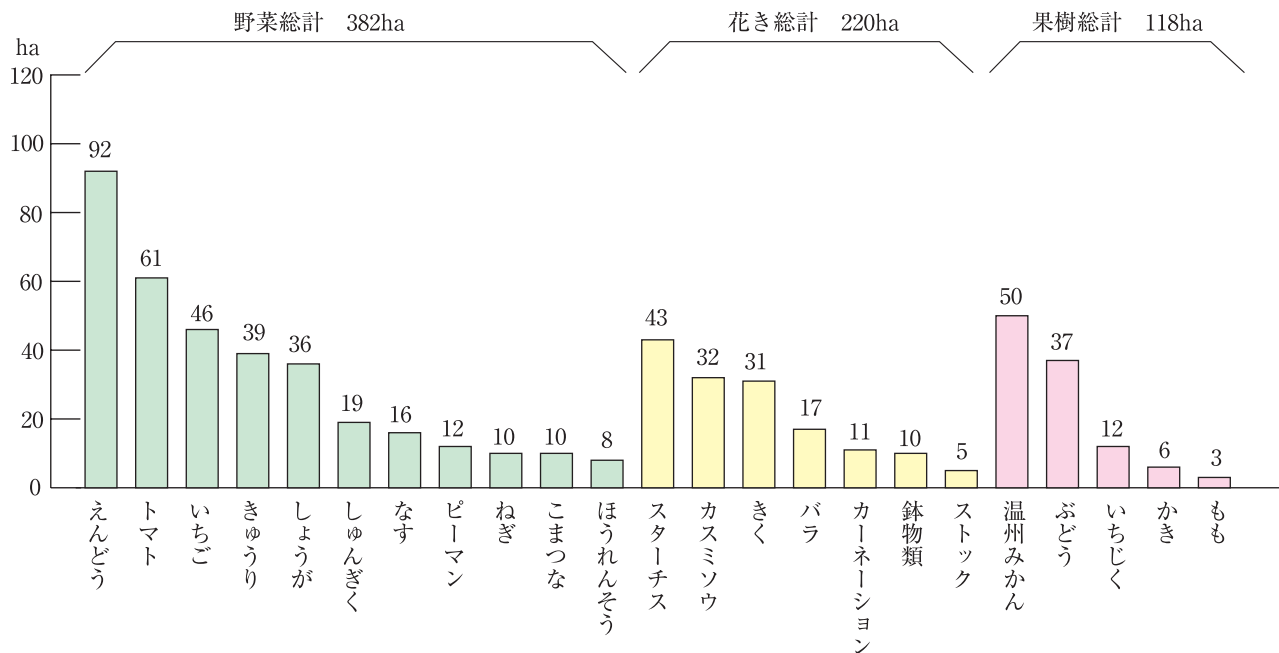


施設設置面積の推移



(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

主要品目別施設栽培延面積 (平17)



施設園芸作付延面積の推移

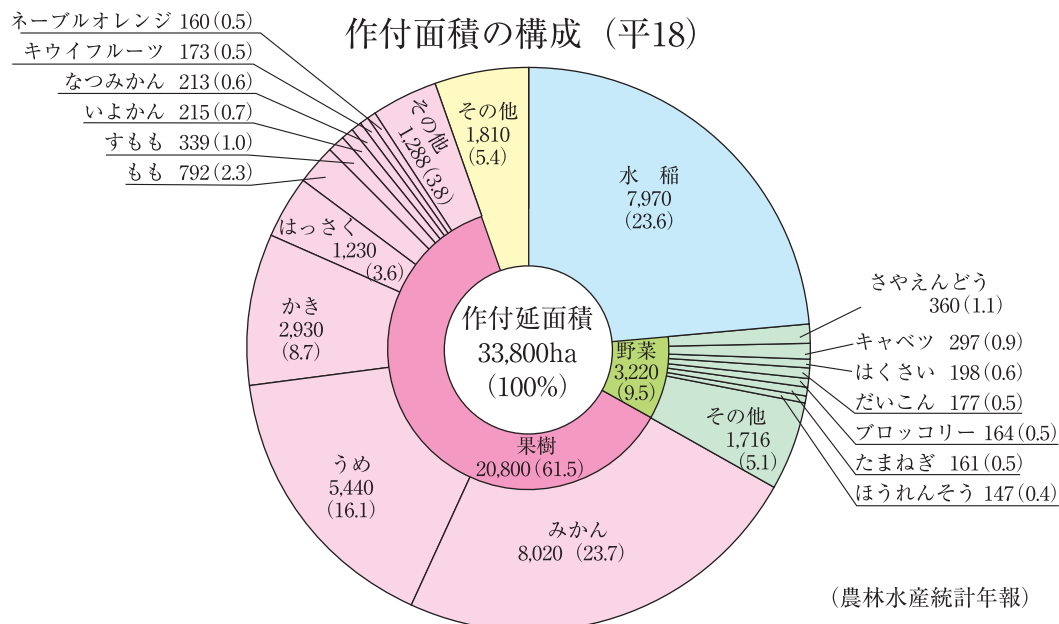
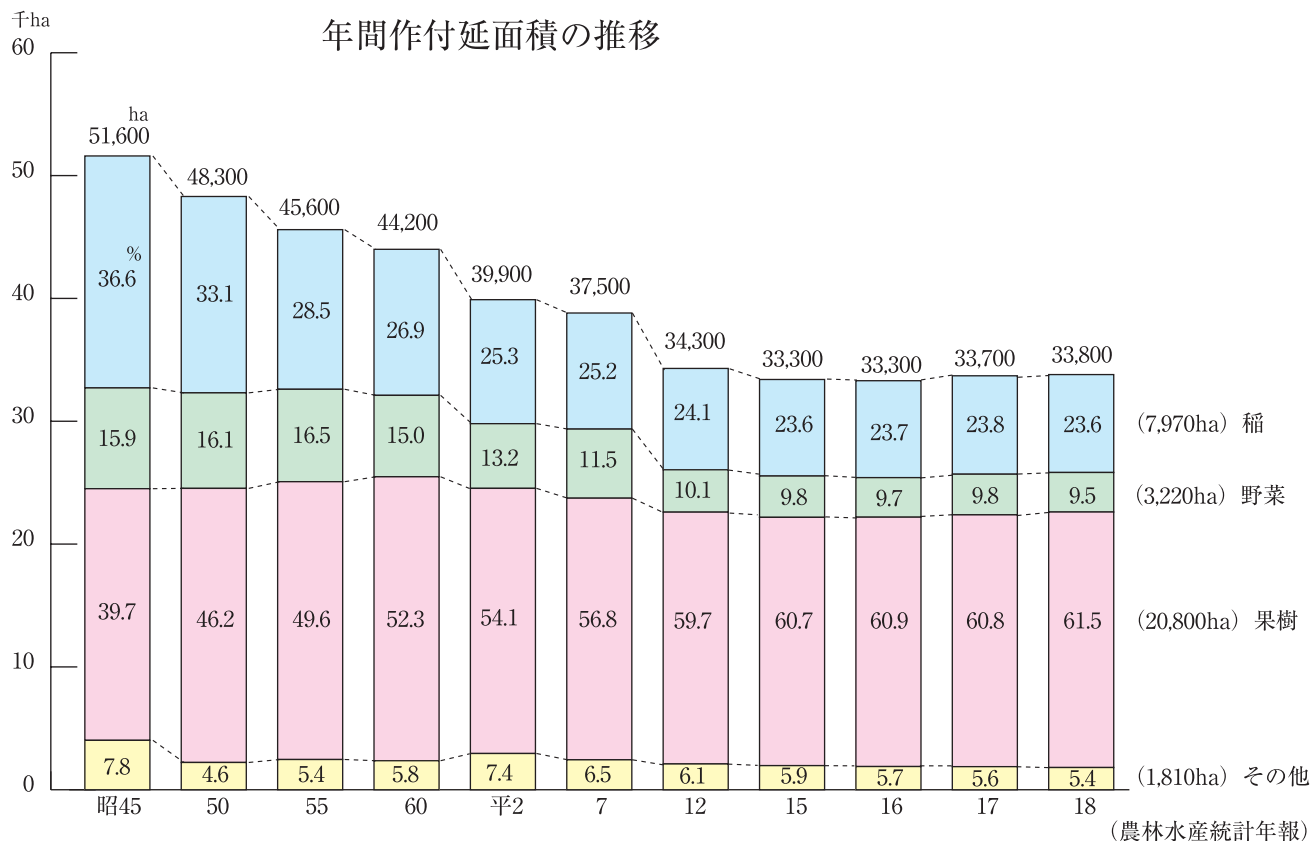
	昭50	55	60	平2	5	9	11	13	15	17
野 菜	197	358	663	580	459	474	418	432	380	382
花 き	35	79	180	276	353	413	362	266	210	220
果 樹	16	15	80	137	174	150	99	117	120	118
合 計	248	452	923	993	986	1,037	879	815	710	720

(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

4) 農業生産

年間作付け面積の構成 —— 果樹（61.5%）・水稲（23.6%）・野菜（9.5%）

水稲、野菜の作付け面積の減少に比べ果樹の作付け面積の減少率は低く、年々果樹のウエイトが高くなっている。



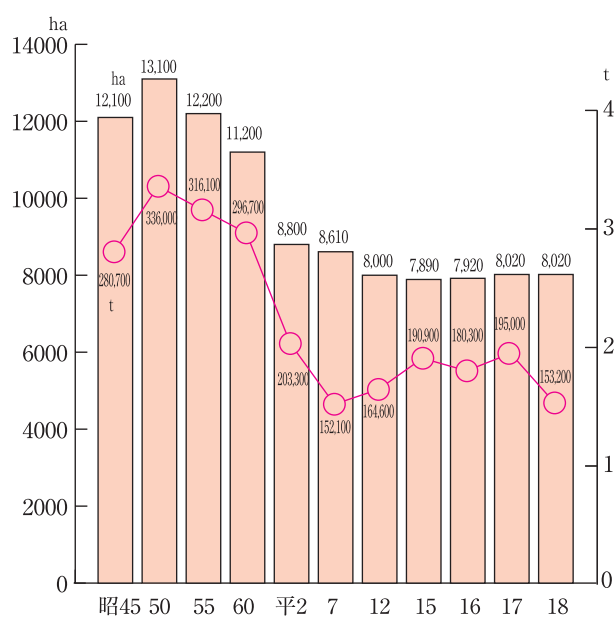
作 付 延 面 積

〔平18〕	全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県 名	県 名
作付延面積 (ha)	4,346,000	33,800	36	0.8	北海道	茨 城
稲	1,688,000	7,970	42	0.5	新 潟	秋 田
野 菜	557,800	3,220	42	0.6	北海道	千 葉
果 樹	261,800	20,800	3	7.9	青 森	愛 媛

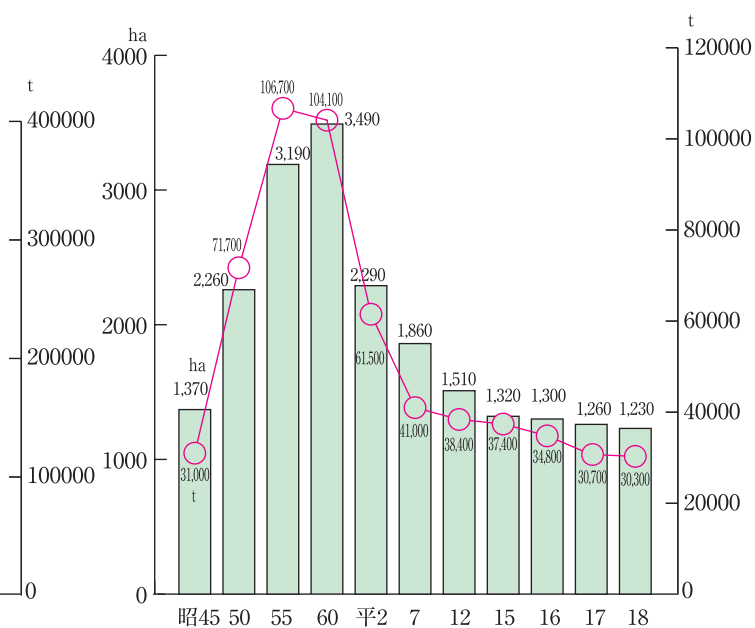
かんきつ類の栽培面積及び収穫量の推移

- みかん：みかんの生産過剰とオレンジ輸入自由化により昭和50年から平成2年にかけて栽培面積は急激に減少するが平成2年から緩やかな減少傾向となる。収穫量については平成8年以降、隔年結果が顕著になっている。
 - はっさく・ネーブルオレンジ：みかんの転換作物として昭和60年まで栽培面積は増加するが、収益性の低下により減少する。近年減少傾向がやや鈍化している。
 - いよかん：昭和60年以降、徐々に栽培面積が減少している。
- 平成18年の全国順位とシェア（栽培面積）——みかん1位（15.0%）・はっさく1位（47.7%）・いよかん3位（3.4%）・ネーブル4位（16.7%）

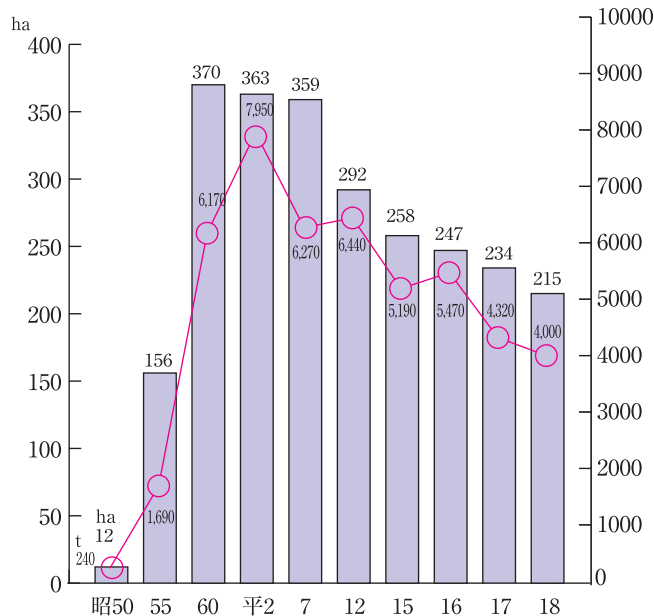
a みかん



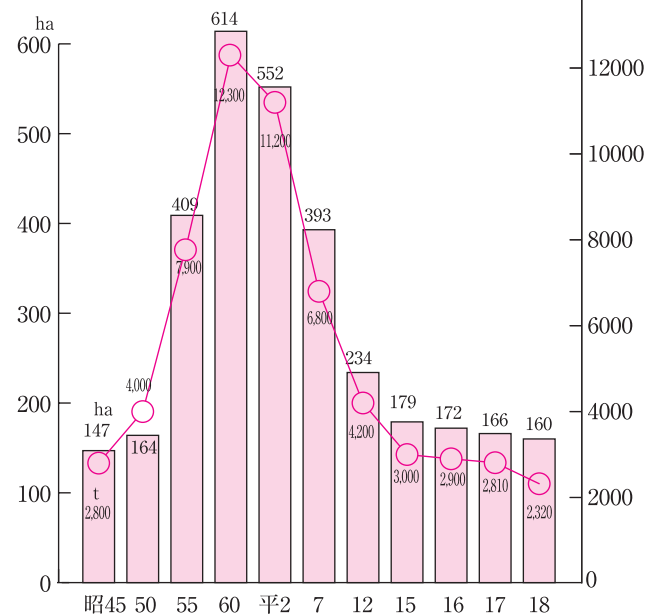
b はっさく



c いよかん



d ネーブルオレンジ

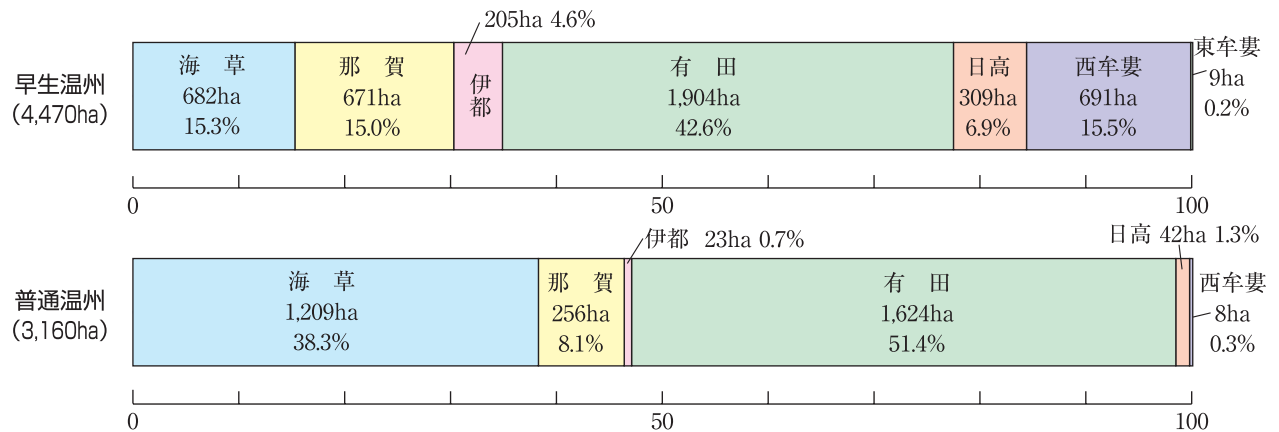


□ 栽培面積 (ha)

○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

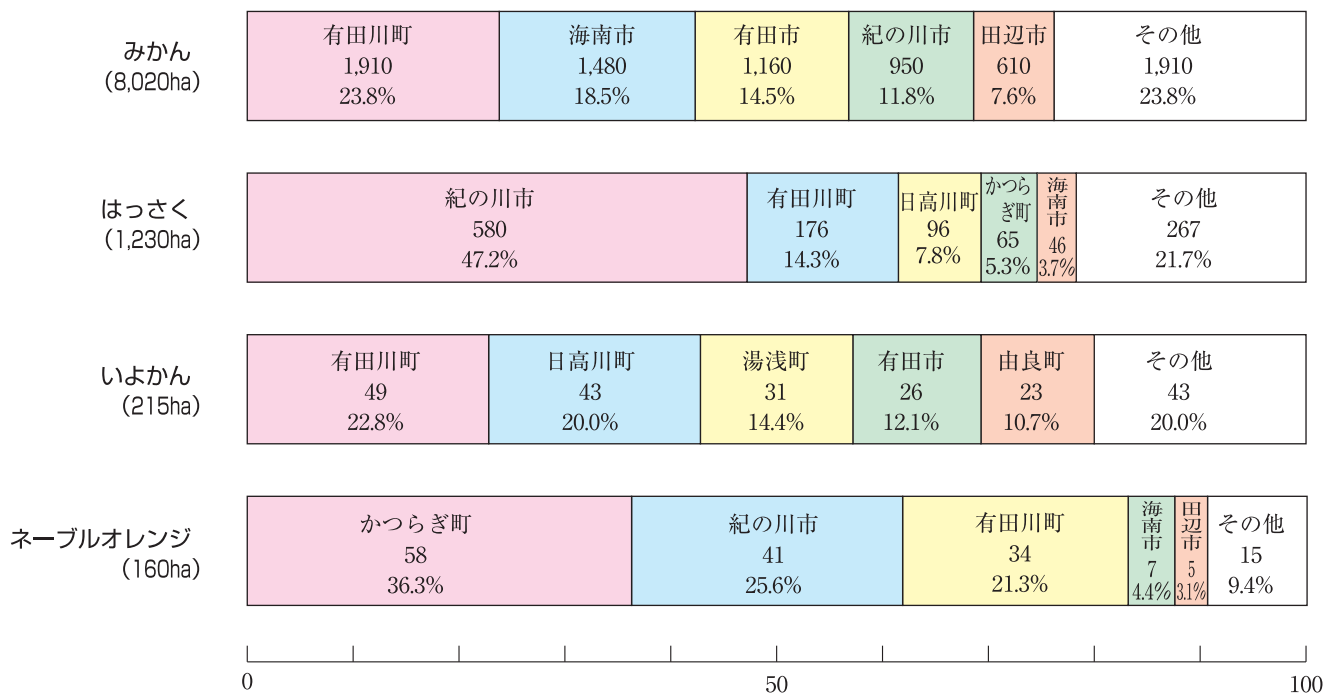
郡別・みかんの結果樹面積（平18）



（農林水産統計年報）

市町村別・かんきつ類の栽培面積

〔上位 5 市町村〕（平18）



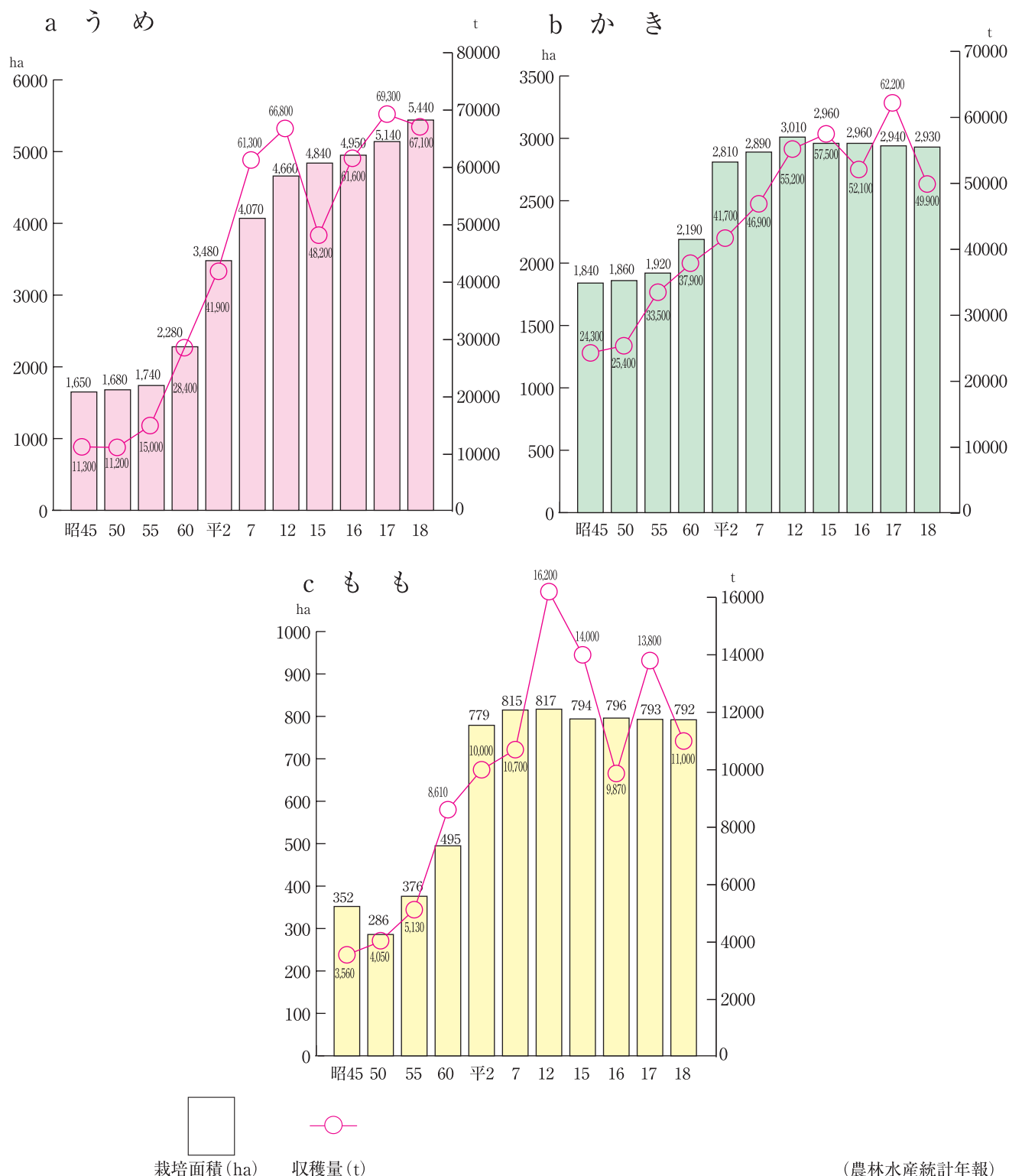
（農林水産統計年報）

栽培面積（かんきつ類）							
〔平18〕	全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位	
	実 数	実 数	順 位				
み か ん	53,500	8,020	1	15.0	和歌山	愛 媛	静 岡
は っ さ く	2,580	1,230	1	47.7	和歌山	広 島	愛 媛
い よ か ん	6,410	215	3	3.4	愛 媛	山 口	和歌山
ネ ー ブ ル	960	160	4	16.7	静 岡	広 島	愛 媛

落葉果樹の栽培面積及び収穫量の推移

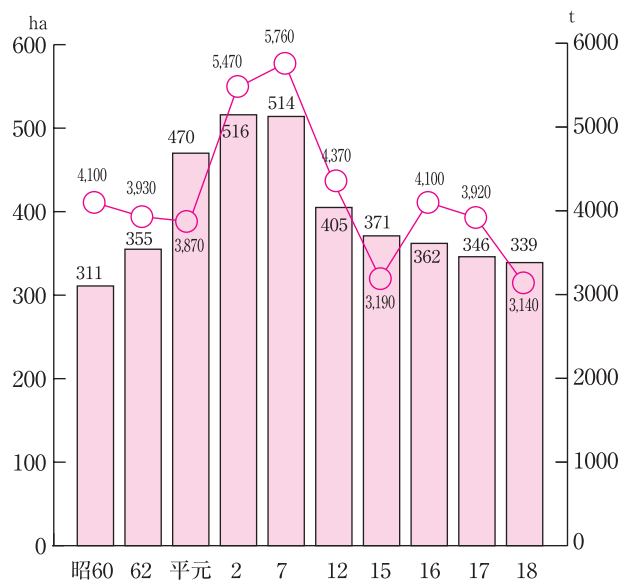
落葉果樹全体では、昭和55年以降みかんからの転作により栽培面積は増加傾向であったが、現在は横ばいである。

- かき・もも：昭和55年から平成2年にかけ栽培面積が急増し、それ以降は微増傾向となっている。
 - うめ：昭和55年から平成7年にかけ健康食ブームと相まって栽培面積が急増し、それ以降も増加傾向である。
 - すもも・キウイフルーツ：平成2年をピークに栽培面積は減少傾向、キウイは減少が著しい。
- 平成18年の全国順位とシェア（栽培面積）—— う め 1 位（29.1%）・か き 1 位（11.9%）
 も も 4 位（7.1%）・すもも 3 位（10.2%）
 キウイフルーツ 3 位（6.7%）

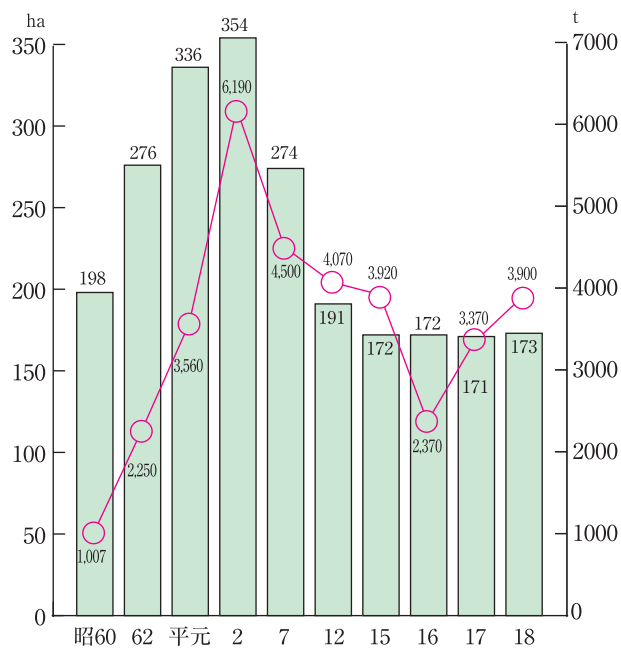


（農林水産統計年報）

d すもも

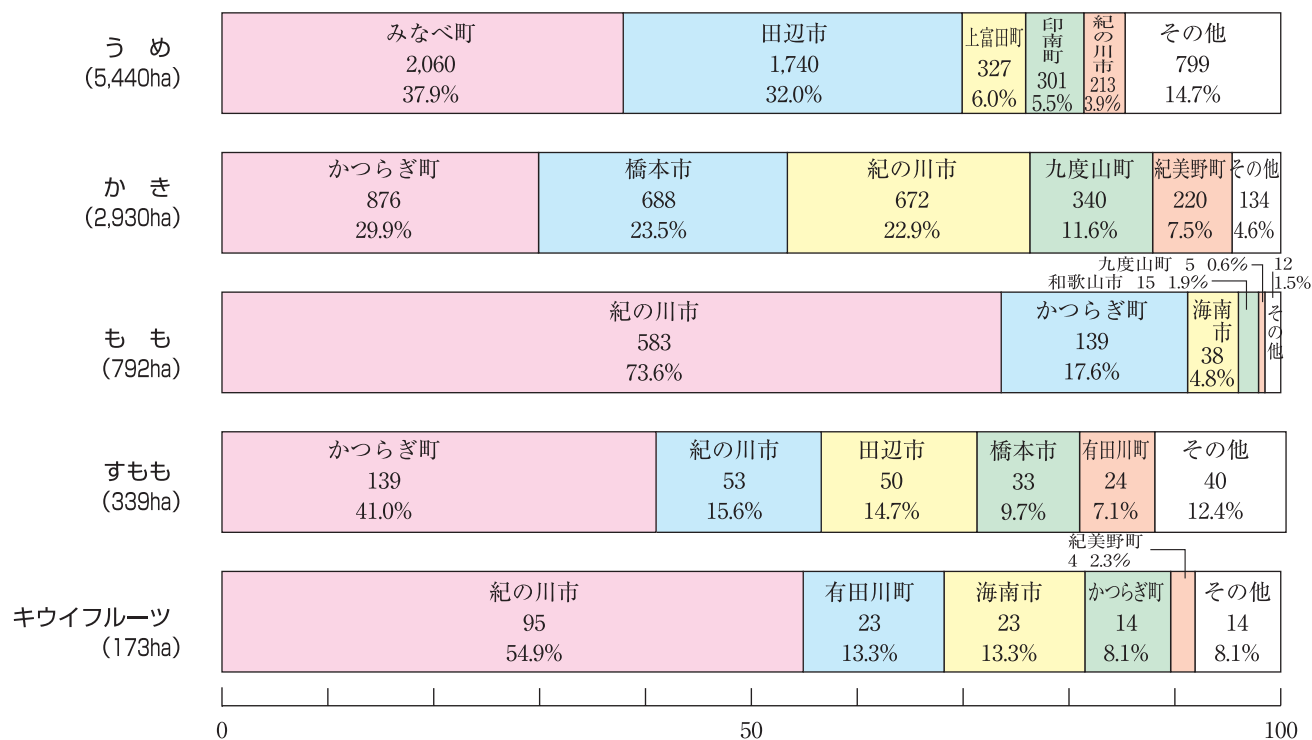


e キウイフルーツ



(農林水産統計年報)

市町村別・落葉果樹の栽培面積（平18）



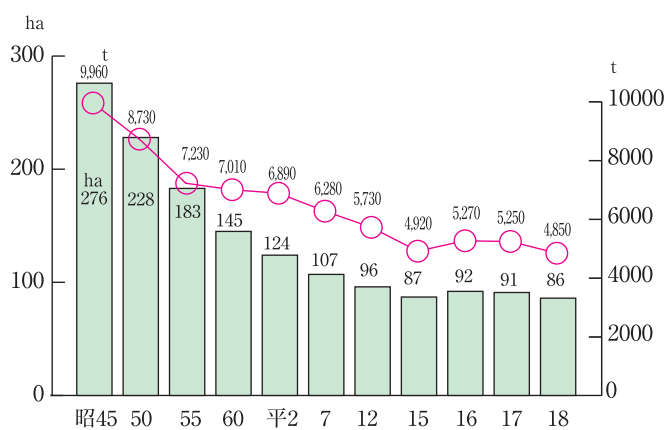
(農林水産統計年報)

栽 培 面 積 (果 樹)							
(ha)							
〔平18〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県 名	県 名	県 名
う め	18,700	5,440	1	29.1	和歌山	群馬	長野
か き	24,600	2,930	1	11.9	和歌山	福岡	奈良
も も	11,200	792	4	7.1	山梨	福島	長野
す も も	3,310	339	3	10.2	山梨	長野	和歌山
キウイフルーツ	2,590	173	3	6.7	愛媛	福岡	和歌山

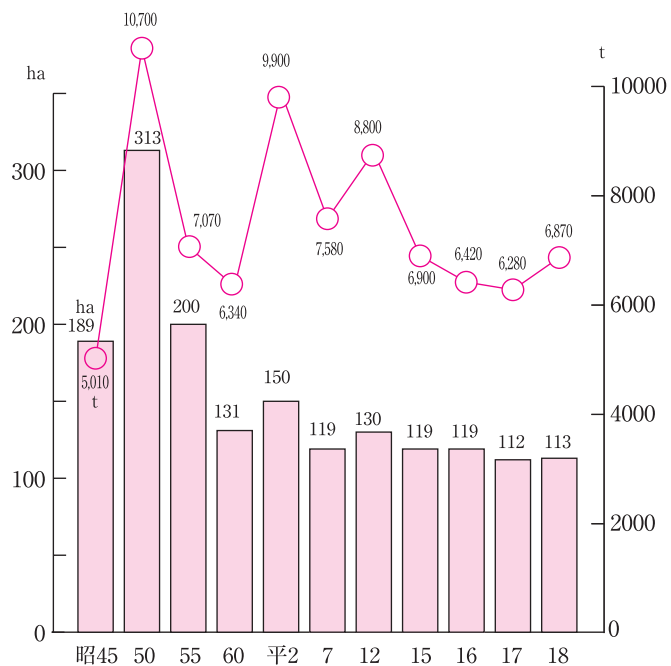
果菜類の作付面積及び収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であるが、その傾向は近年やや鈍化している。

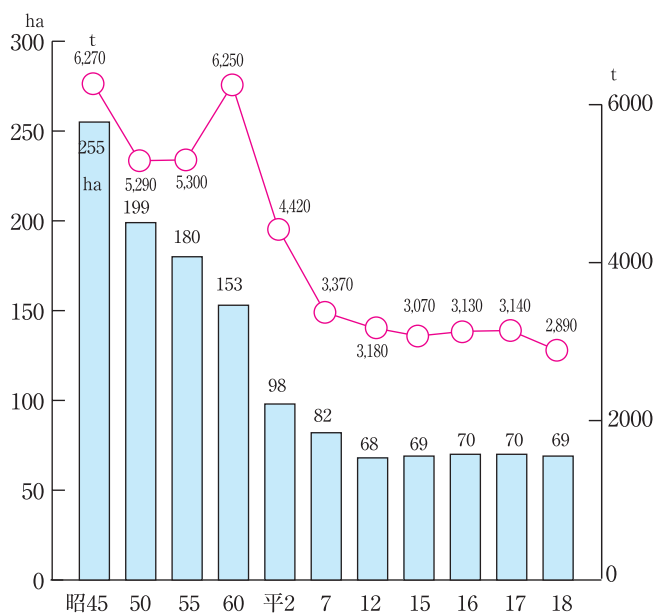
a きゅうり



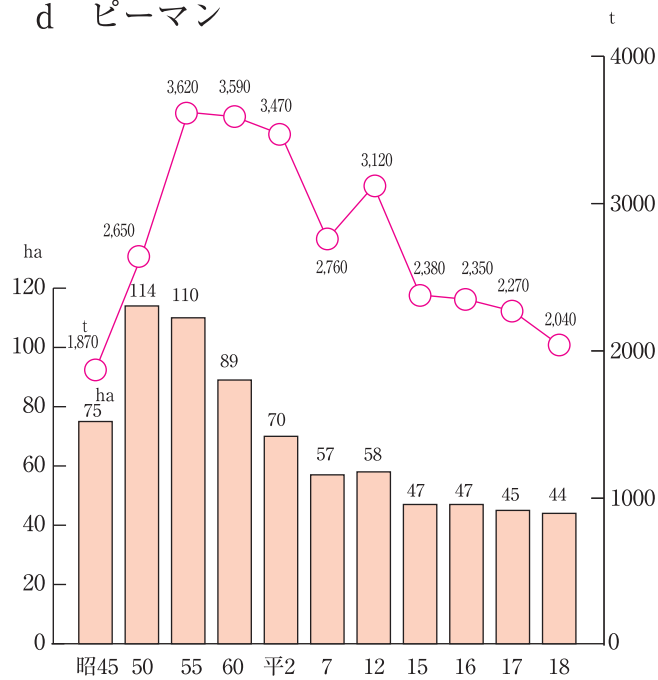
b トマト



c なす



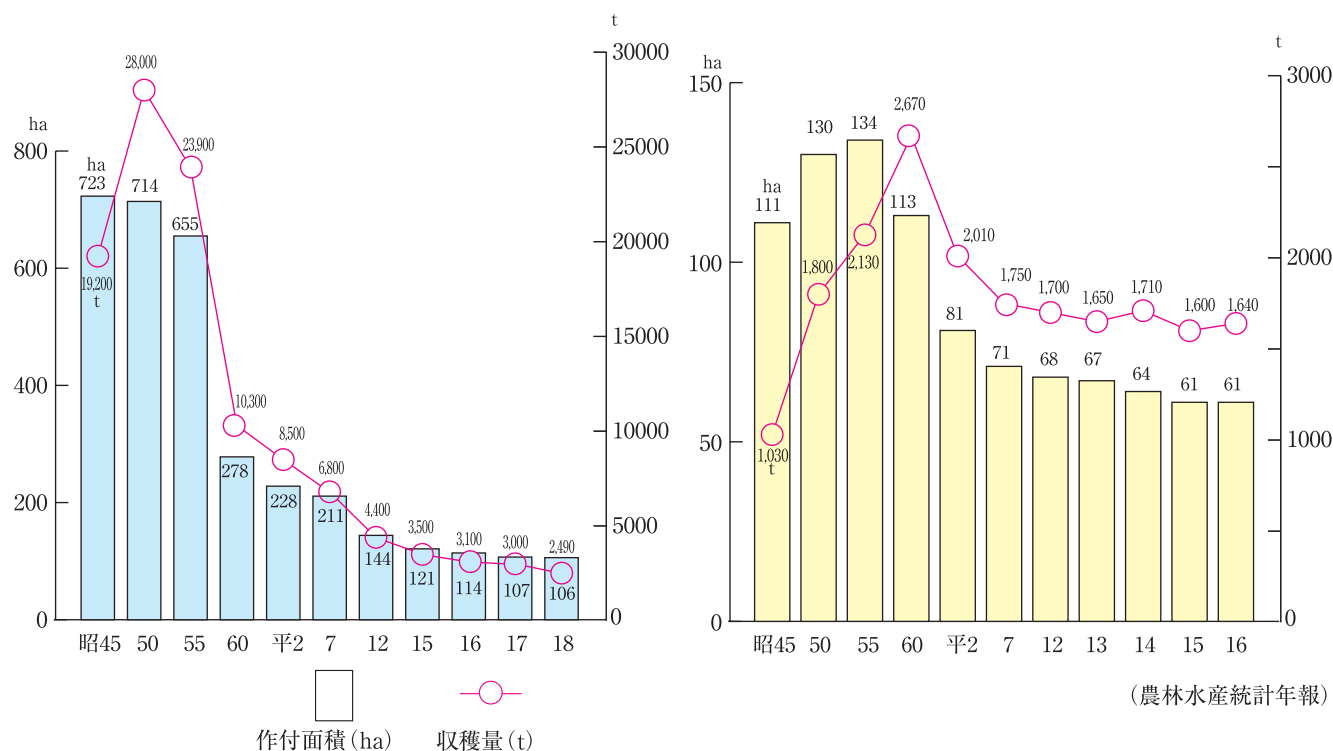
d ピーマン



 作付面積 (ha)
  収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

f いちご



市町村別・果菜類の作付面積（平18）

きゅうり (88ha)	紀の川市 24 27.3%	美浜町 11 12.5%	かつらぎ町 6 6.8%	印南町 6 6.8%	日高町 6 6.8%	その他 35 39.8%	
トマト (113ha)	印南町 22 19.5%	紀の川市 13 11.5%	日高町 13 11.5%	和歌山市 12 10.6%	有田川町 11 9.7%	御坊市 6 5.3%	その他 36 31.9%
なす (69ha)	紀の川市 12 17.4%	和歌山市 5 7.2%	日高川町 5 7.2%	田辺市 4 5.8%	その他 43 62.3%		
ピーマン (44ha)	和歌山市 10 22.7%	有田川町 8 18.2%	御坊市 7 15.9%	日高川町 3 6.8%	田辺市 3 6.8%	その他 13 29.5%	
すいか (100ha)	印南町 40 40.0%		御坊市 16 16.0%		紀の川市 11 11.0%	和歌山市 8 8.0%	その他 25 25.0%
いちご (61ha)	打田町 16 26.2%	貴志川町 7 11.5%	粉河町 4 6.6%	御坊市 3 4.9%	湯浅町 3 4.9%	みなべ町 3 4.9%	その他 25 41.0%

0

50

1

※いちごの数値は平成16年

(農林水産統計年報)

作 付 面 積 (果菜類)								(ha)		
〔平18〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位			
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名			
き ゅ う り	13,100	88	41	0.7	群 馬	福 島	宮 崎			
ト マ ト	12,900	113	39	0.9	熊 本	茨 城	千 葉			
な す	11,100	69	21	0.6	高 知	群 馬	熊 本			
ピ ー マ ン	3,540	44	6	1.2	茨 城	宮 崎	岩 手			
す い か	13,000	100	24	0.8	熊 本	千 葉	山 形			
い ち ご	6,880	61	33	0.9	栃 木	福 岡	熊 本			

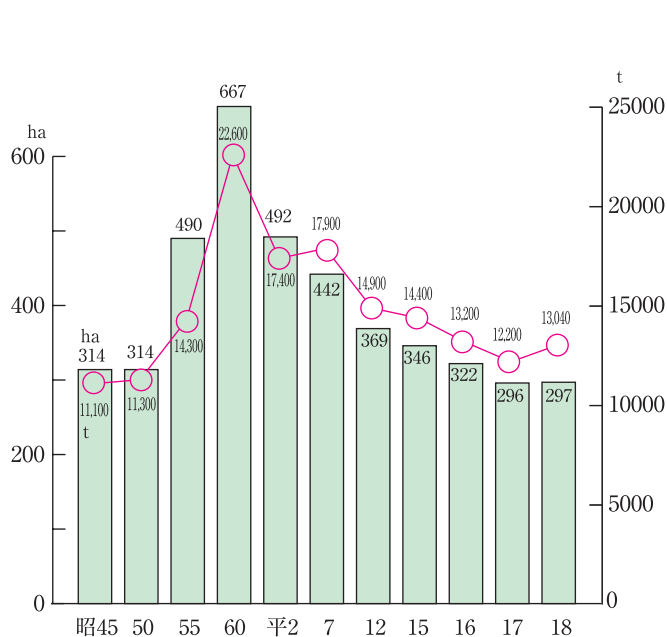
※いちこの数値は平成16年

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

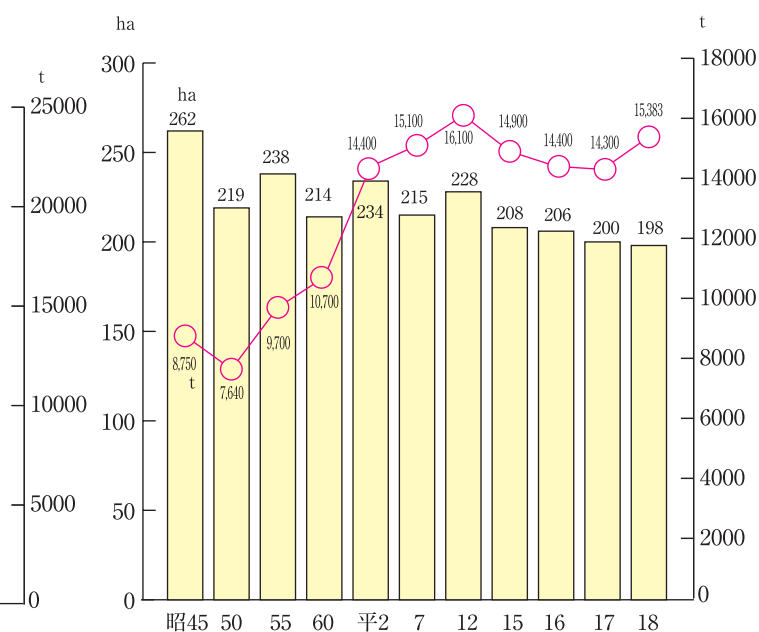
葉茎菜類の作付面積及び収穫量の推移

- たまねぎ・レタス・キャベツ・はくさい：近年、栽培面積、収穫量ともに微減傾向にある。
- ほうれんそう：近年、栽培面積・収穫量とも増加傾向である。

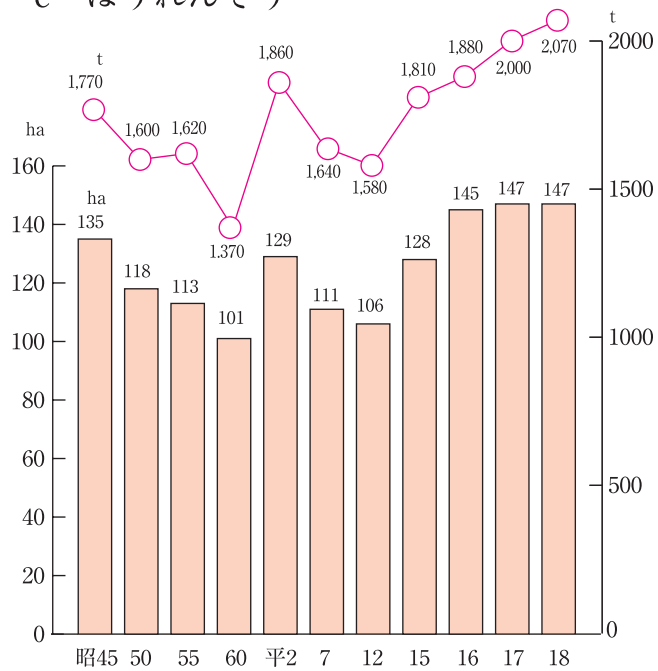
a キャベツ



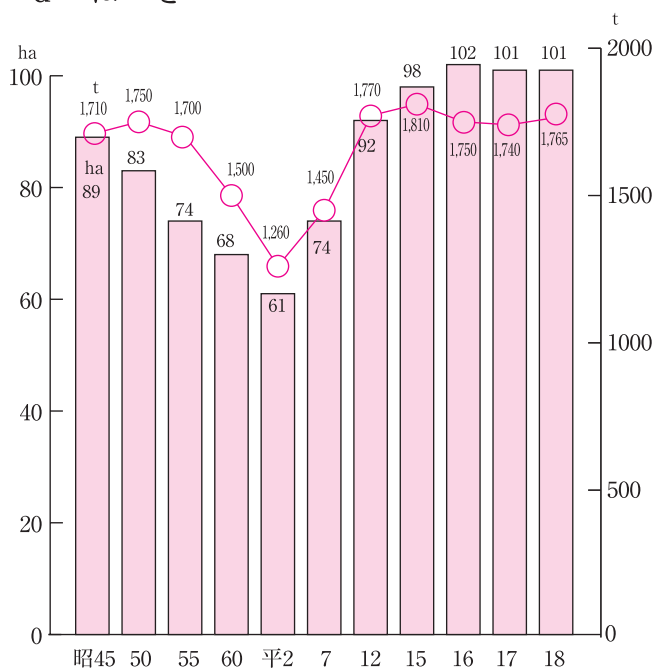
b はくさい



c ほうれんそう



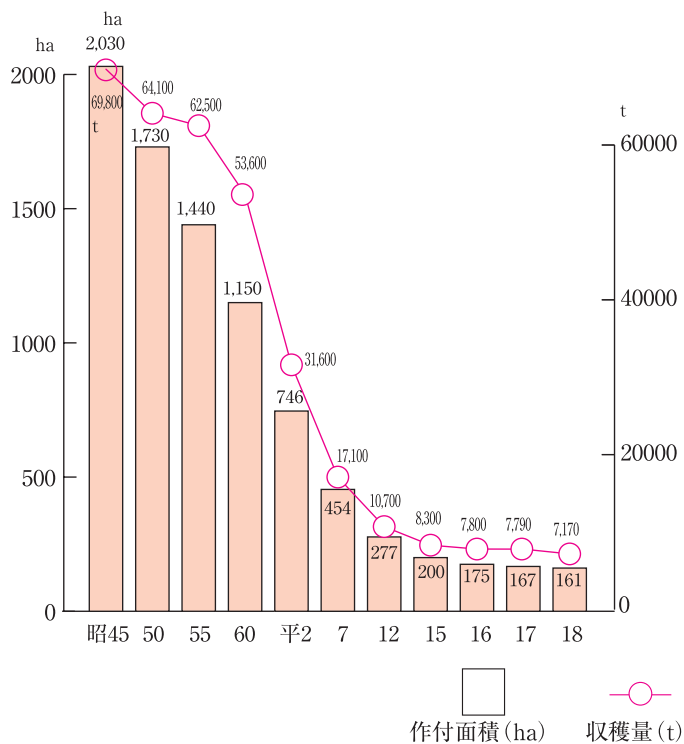
d ねぎ



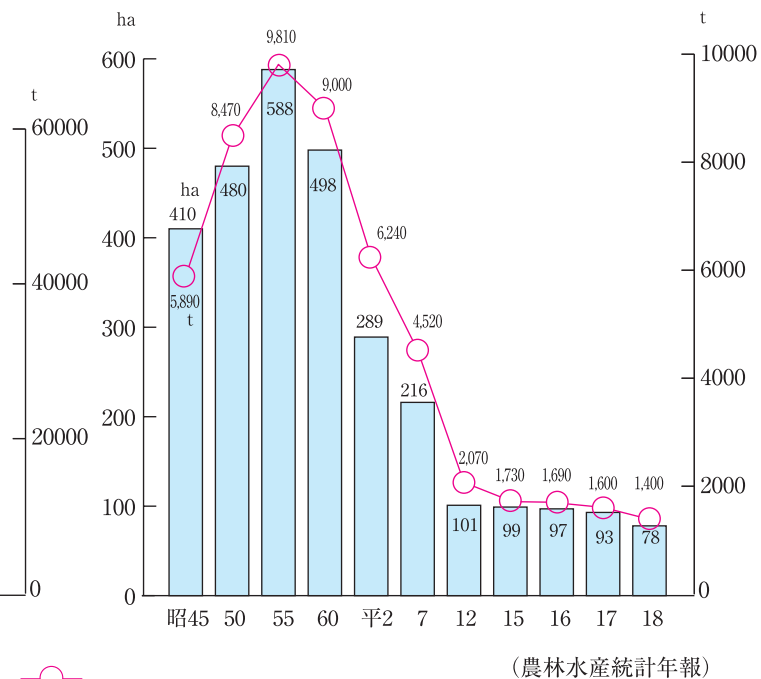
 作付面積 (ha)
  収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

e たまねぎ



f レタス



(農林水産統計年報)

市町村別・葉茎菜類の作付面積 (平18)

キャベツ (297ha)	和歌山市				岩出町	紀の川市	御坊市	その他
	197 66.3%				22 7.4%	20 6.7%	12 4.0%	46 15.5%

はくさい (198ha)	和歌山市				紀の川市	岩出町	御坊市	その他
	109 55.1%				18 9.1%	16 8.1%	12 6.1%	43 21.7%

たまねぎ (161ha)	紀の川市				岩出町	その他
	102 63.4%				10 6.2%	49 30.4%

レタス (78ha)	御坊市	白浜町	和歌山市	日高川町	上富田町	その他
	24 30.8%	15 19.2%	10 12.8%	6 7.7%	4 5.1%	19 24.4%

0 50 100

(農林水産統計年報)

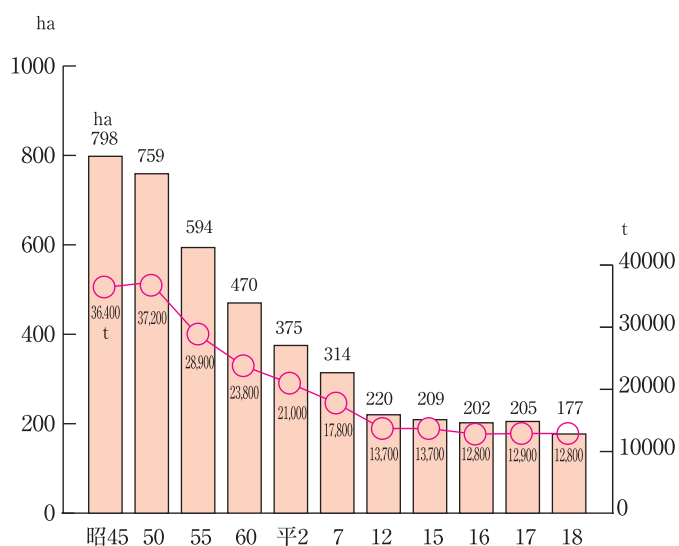
作付面積 (葉茎菜類) (ha)						
〔平18〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名
キ ャ ベ ツ	35,910	297	28	0.8	愛 知	群 馬
は く さ い	19,220	198	28	1.0	茨 城	長 野
ほうれんそう	23,300	147	36	0.6	千 葉	埼 玉
ね ぎ	22,710	101	35	0.4	千 葉	埼 玉
た ま ね ぎ	23,600	161	22	0.7	北 海 道	佐 賀
レ タ ス	21,100	78	32	0.4	長 野	茨 城

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。「-」は不明。

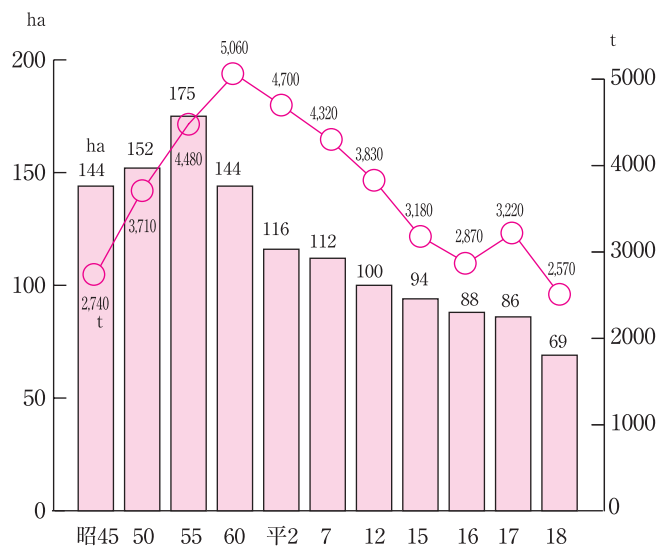
根菜類及び豆類の作付面積と収穫量の推移

- だいこん・にんじん：需要の減少により、栽培面積の減少が続いていたが、その傾向は近年やや鈍化している。
- さやえんどう：近年、栽培面積、収穫量ともに減少傾向である。

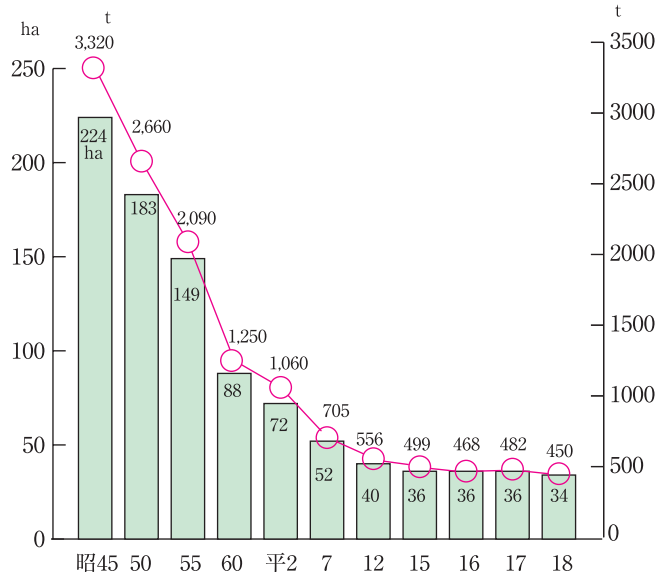
a だいこん



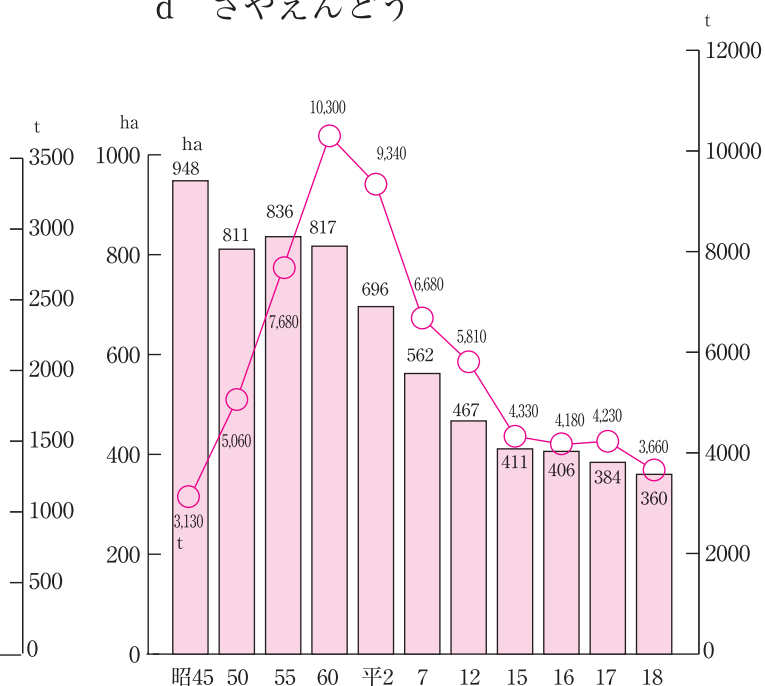
b にんじん



c さといも



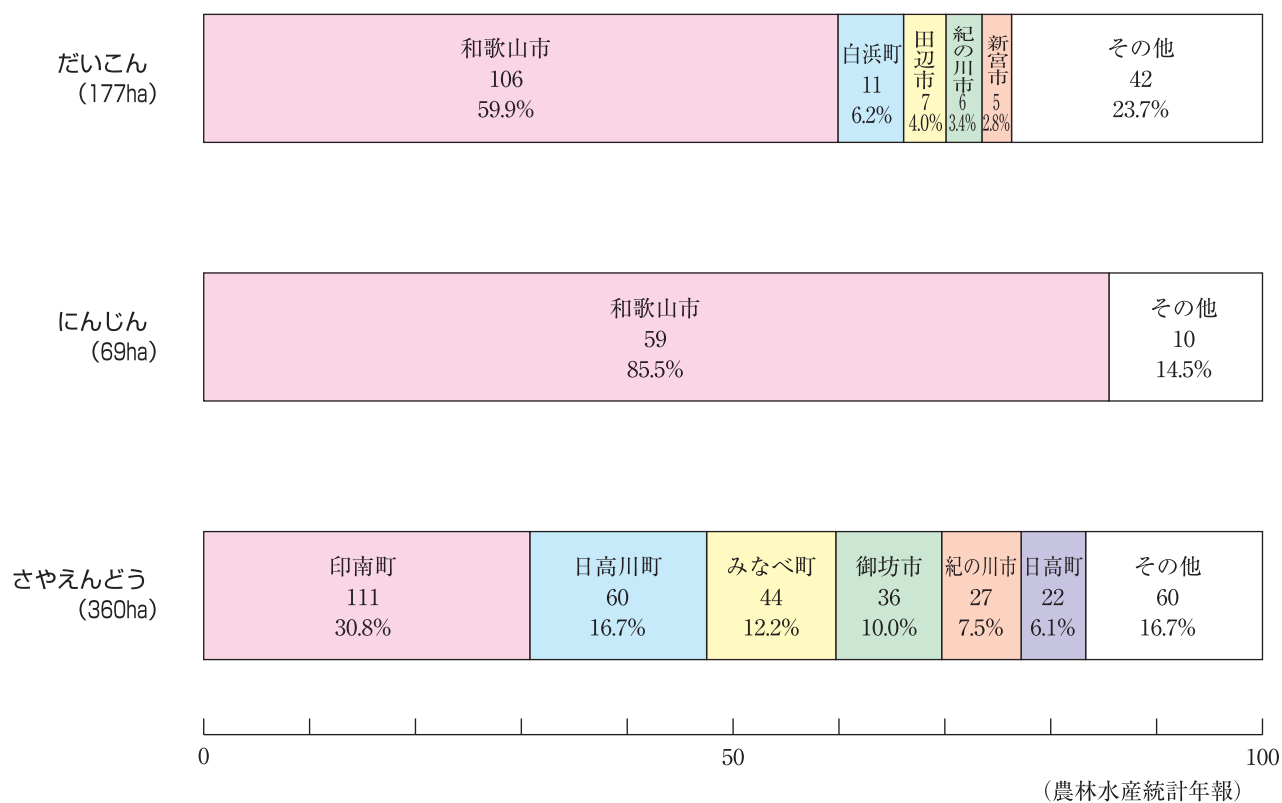
d さやえんどう



 作付面積 (ha)
  収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

市町村別・根菜類及び豆類の作付面積（平18）



作 付 面 積 (根菜類・豆類)							
〔平18〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
だ い こ ん	38,250	177	42	0.5	北海道	青 森	千 葉
に ん じ ん	17,110	69	33	0.4	北海道	千 葉	青 森
さ と い も	14,400	34	44	0.2	千 葉	宮 崎	埼 玉
さ や え ん ど う	4,460	360	3	8.0	鹿児島	福 島	和歌山

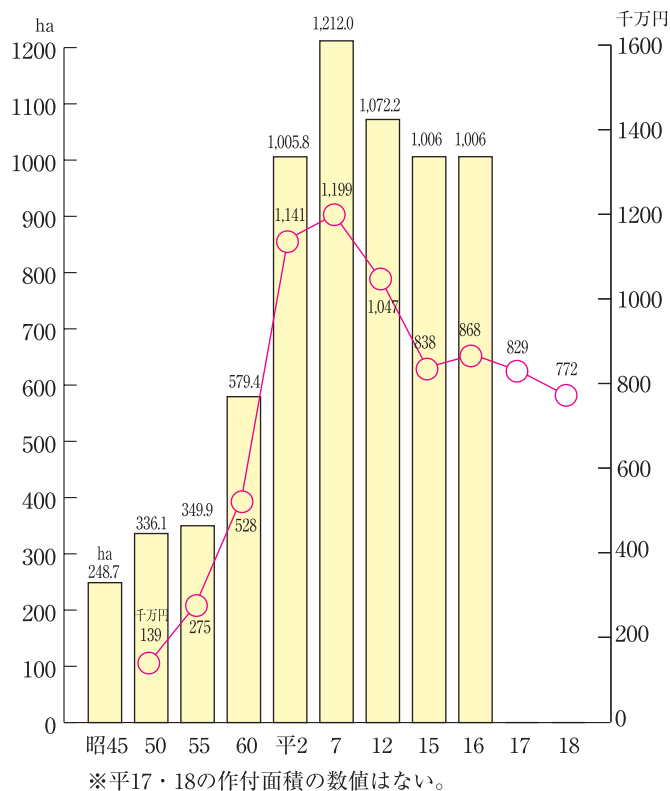
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

(野菜生産出荷統計)

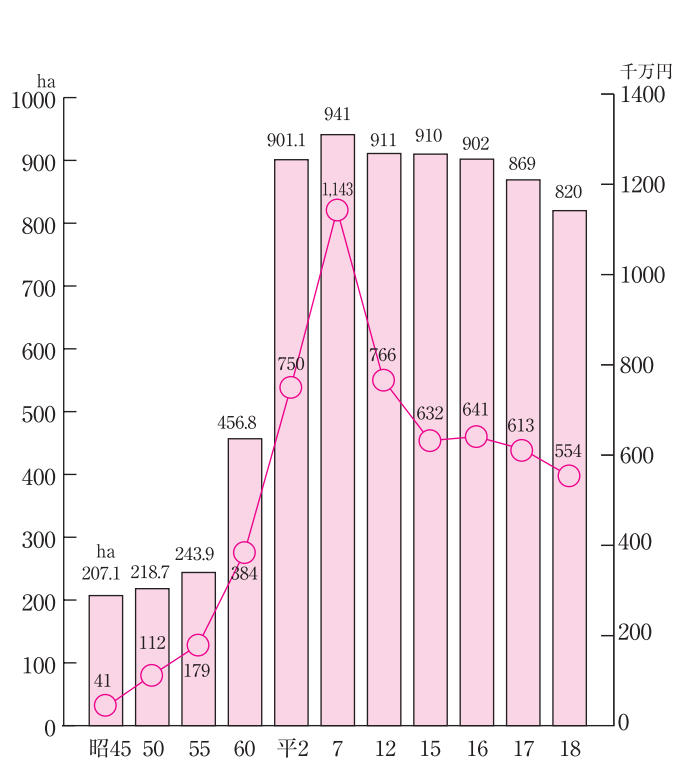
花き生産の推移

花き全体の栽培面積は昭和60年から平成2年にかけ需要の増加や野菜からの転換により急激に増加している。その後の推移は平成6年をピークに微減となっている。

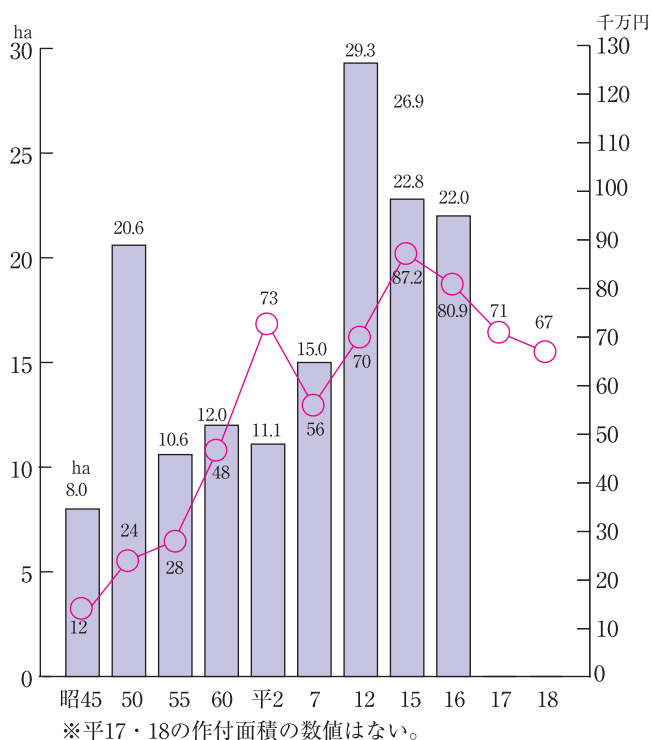
総 計



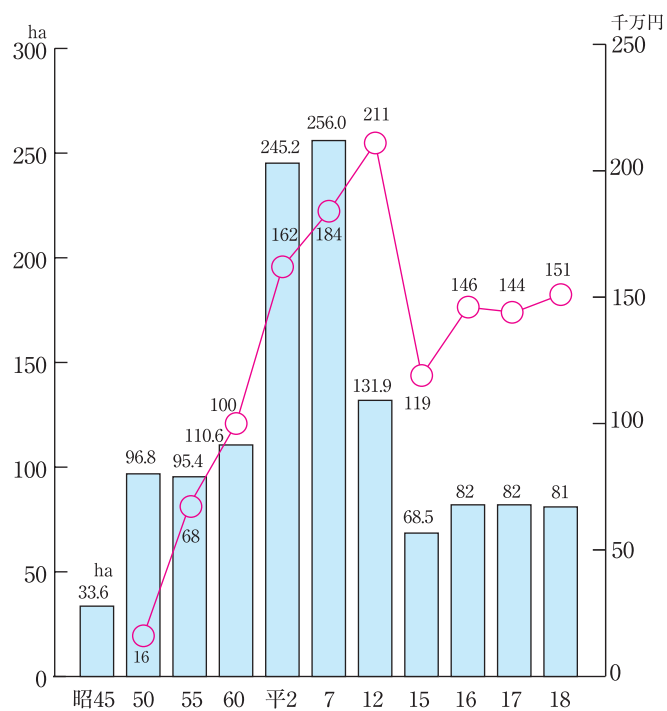
b 切 花



c 鉢物・花壇苗



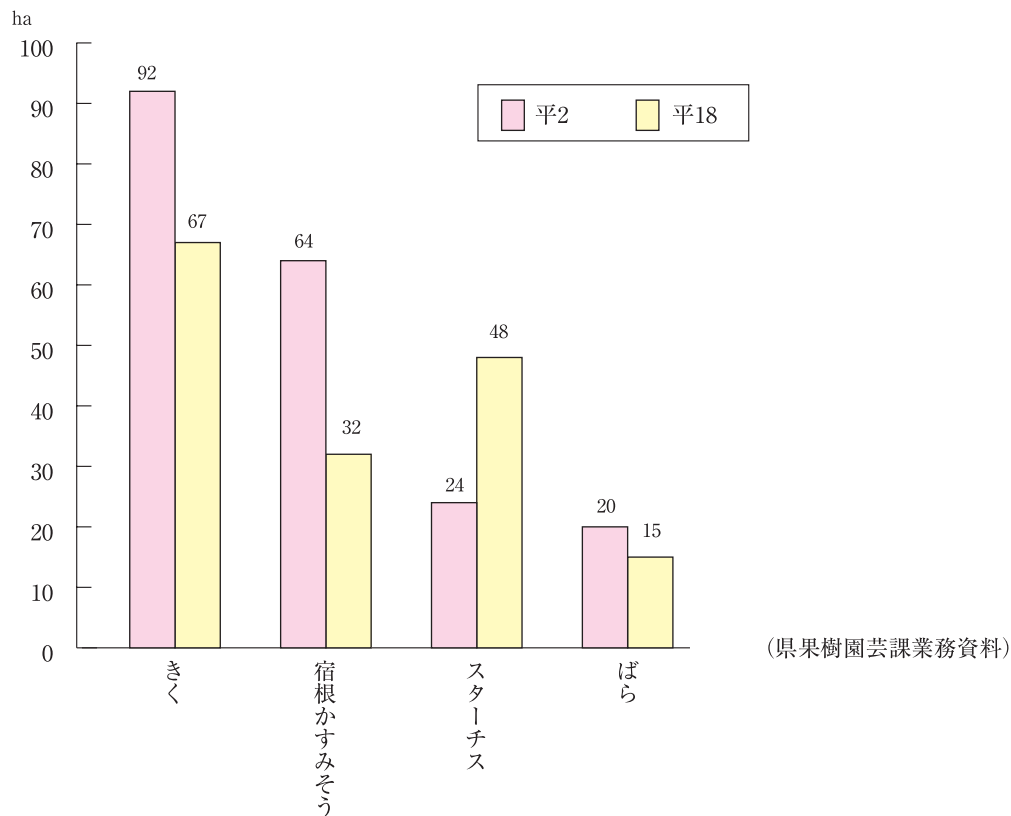
d 花木類等



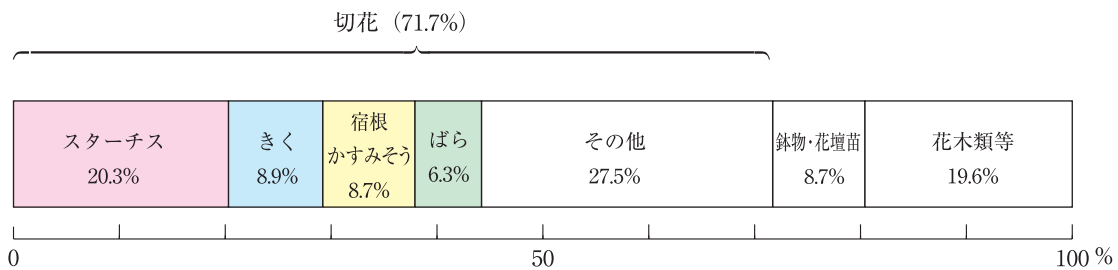
 作付面積 (ha)
  生産額 (千万円)

(県果樹園芸課業務資料)

主要切花の作付面積（平18）



花き生産額の部門別割合（平18）



(県果樹園芸課業務資料)

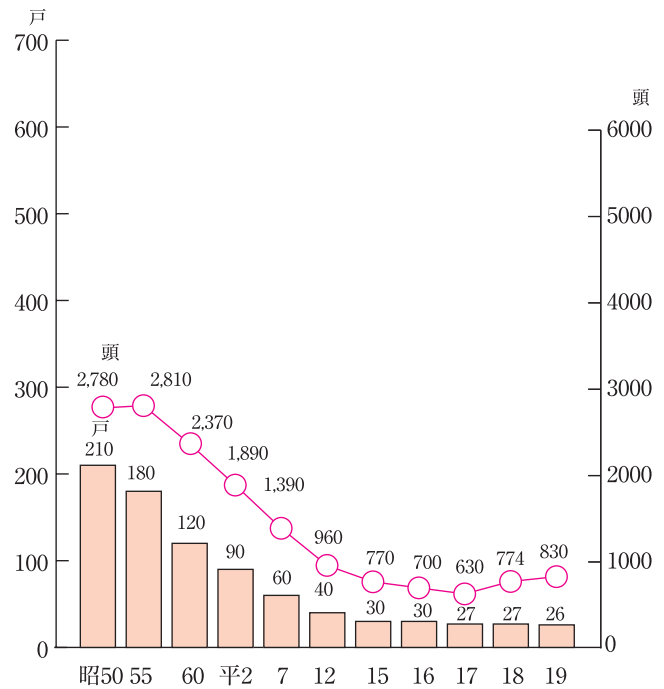
作付面積(花き)							
〔平18〕	全 国				(ha)		
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	1 位 県名	2 位 県名	3 位 県名
き く	5,715	67	20	1.2	愛 知	沖 縄	鹿 児 島
宿根かすみそう	289	32	3	11.1	熊 本	福 島	和 歌 山
ス タ ー チ ス	250	48	2	19.2	北 海 道	和 歌 山	長 野
ば ら	490	15	10	3.1	愛 知	静 岡	福 岡

家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移

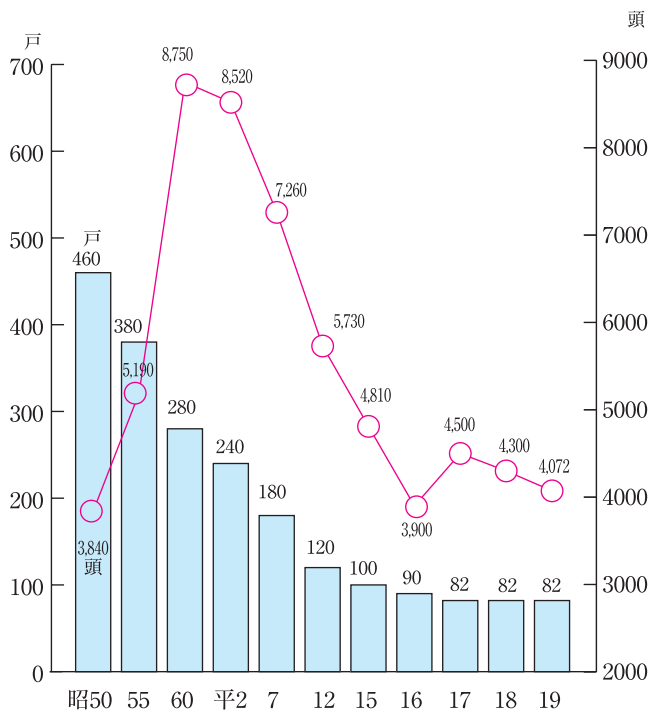
畜産農家はいずれの部門も横ばいである。また、飼育頭数は乳牛、肉用牛、豚ともに昭和55年～60年をピークに減少傾向にあったが、乳用牛においては平成18年からは増加している。

採卵鶏の飼育羽数は昭和50年から平成19年にかけて変化は少ないが、統計調査の飼育戸数農家の対象の変化もあり（平成元年より300羽以上のみ、平成9年より1,000羽以上のみ、平成14年より種鶏農家除く）、平成2年以降飼育戸数が1/10になるとともに経営の大規模化が図られている。

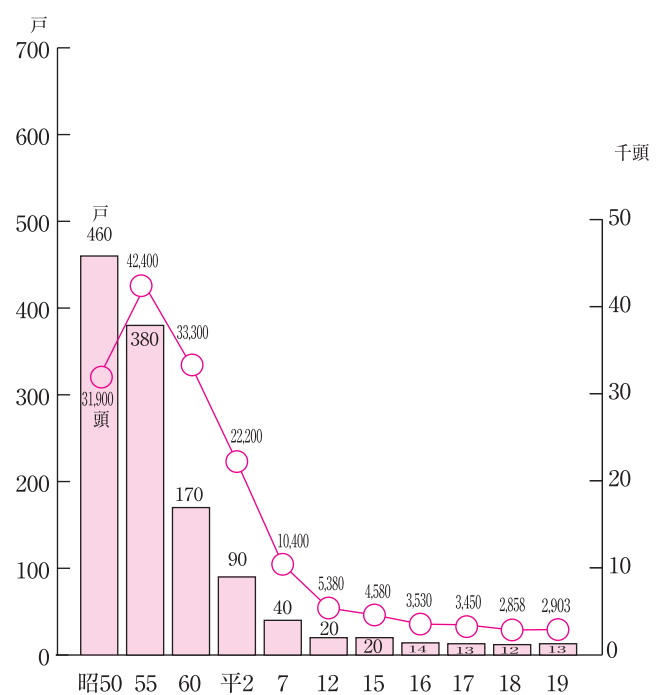
a 乳用牛



b 肉用牛



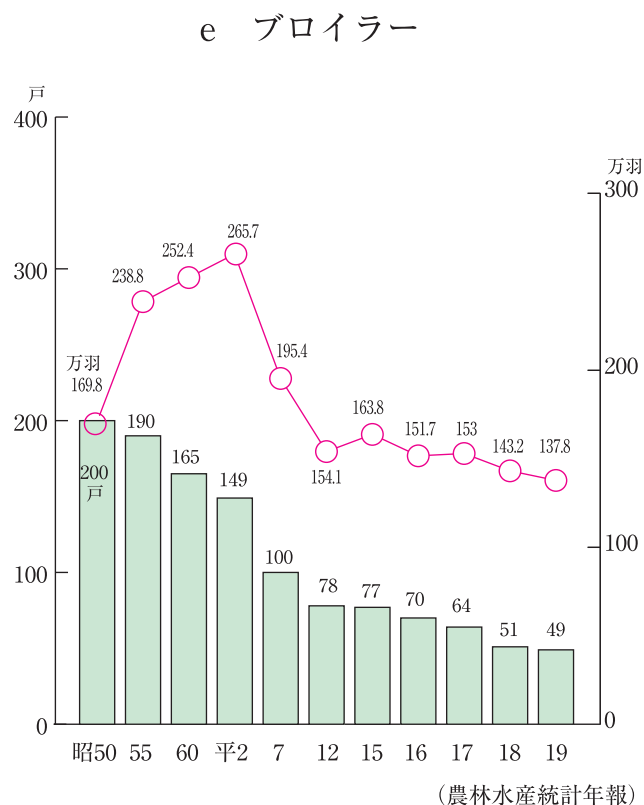
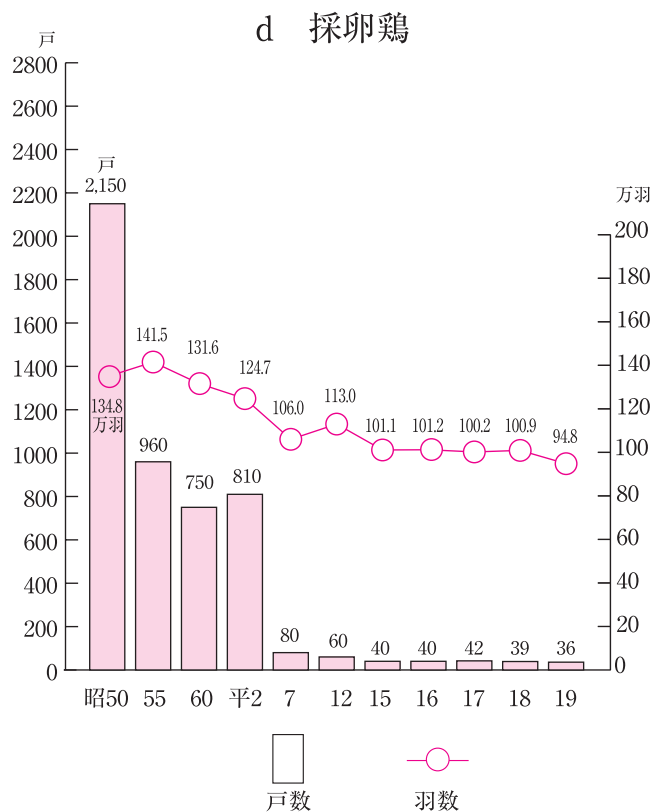
c 豚



戸数

頭数

(農林水産統計年報)



市町村別・家畜飼養頭羽数 (平19)

乳用牛 (830頭)	古座川町 244 29.4%	紀の川市 110 13.3%	海南市 97 11.7%	その他 379 45.7%
肉用牛 (4,072頭)	日高川町 898 22.1%	紀の川市 651 16.0%	新宮市 473 11.6%	その他 2,050 50.3%
豚 (2,903頭)	かつらぎ町 1,087 37.4%	和歌山市 640 22.0%	有田川町 470 16.2%	その他 706 24.3%
ブロイラー (1,378千羽)	紀美野町 456 33.1%	田辺市 352 25.5%	日高川町 218 15.8%	その他 352 25.5%

(県畜産課業務資料)

家畜の飼養頭羽数・戸数							
〔平19.2.1現在〕		全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
		実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名
飼養頭羽数	乳用牛(頭)	1,592,000	830	47	0.1	北海道	栃 木
	肉用牛(頭)	2,806,000	4,070	43	0.2	北海道	鹿 児 島
	豚(頭)	9,759,000	2,903	47	0.1	鹿児島	宮 崎
	採卵鶏(千羽)	183,224	948	36	0.6	千 葉	茨 城
飼養戸数(戸)	乳 用 牛	25,400	26	47	0.1	北海道	岩 手
	肉 用 牛	82,300	8	42	0.1	鹿児島	宮 崎
	豚	7,550	13	46	0.2	鹿児島	宮 崎
	採 卵 鶏	3,460	36	34	1.0	愛 知	鹿 児 島

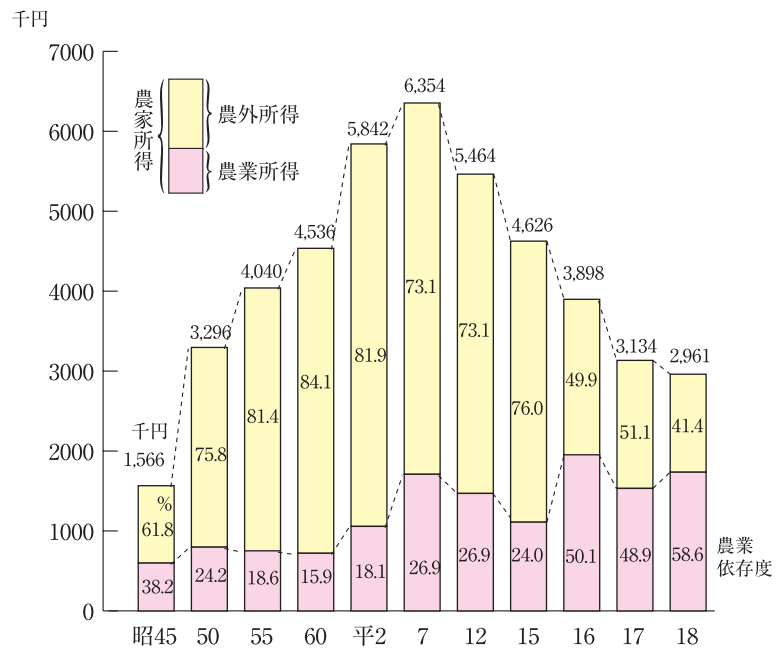
5) 農業所得と農業産出額

農業産出額はピークの平成3年で1,737億円となり、昭和45年に比べ2.7倍となっている。しかし、平成9年以降ピーク時の70～85%程度の産出額で推移している。

また、生産農業所得も同様の傾向で平成18年は479億円となり、農家所得の推移も平成8年をピークに減少傾向にある。

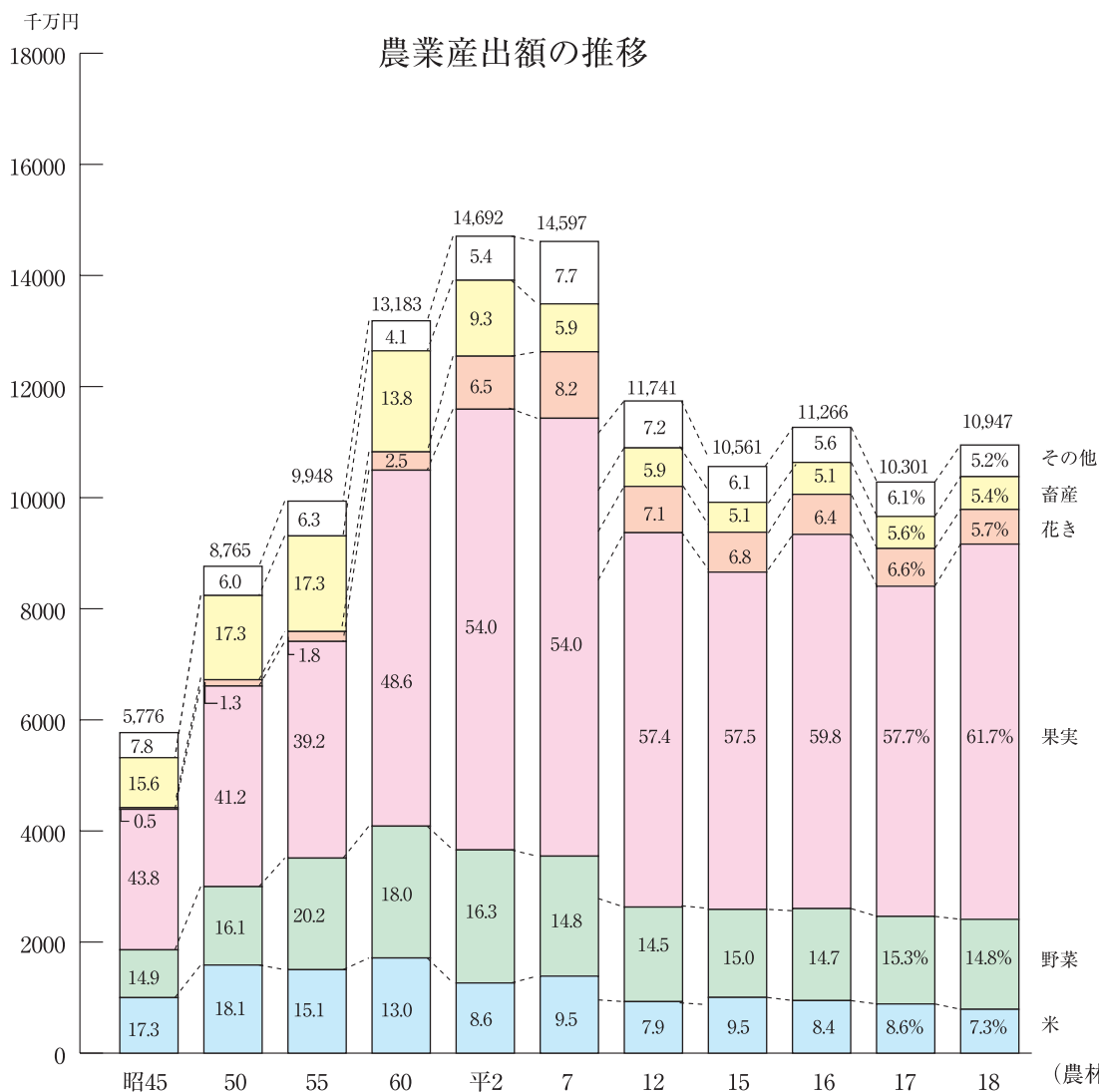
※本調査は、平成16年より調査対象及び調査内容が変更されていますので、ご利用の際はご注意ください。

農家所得の推移



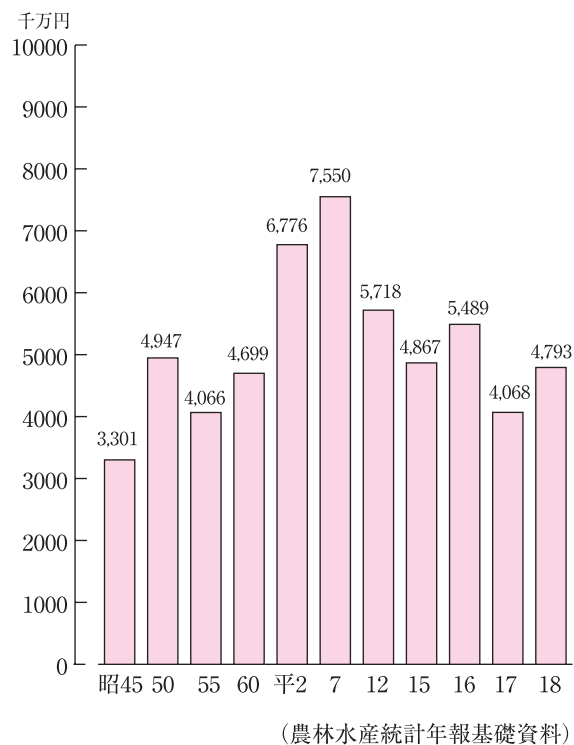
(農林水産統計年報基礎資料)

農業産出額の推移

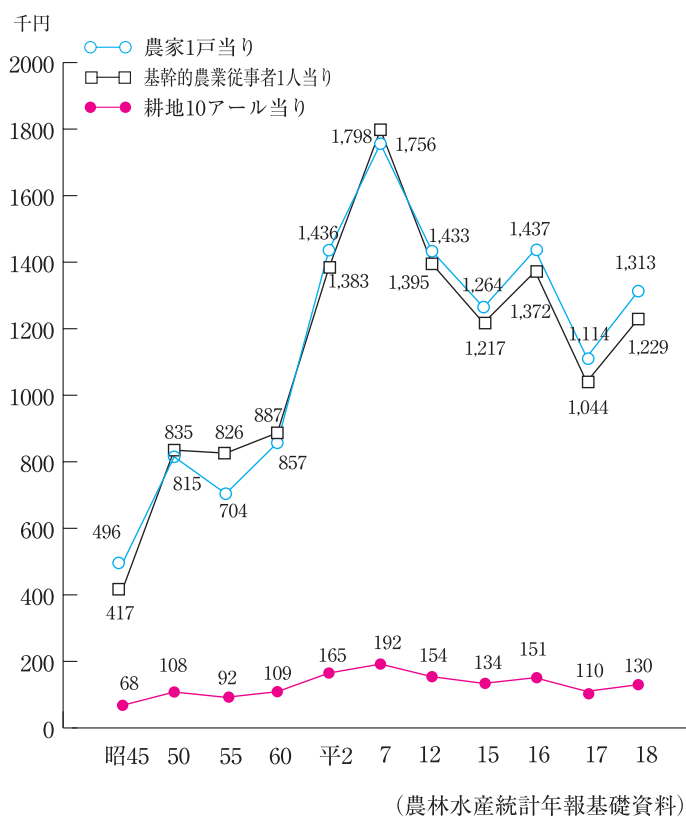


(農林水産統計年報)

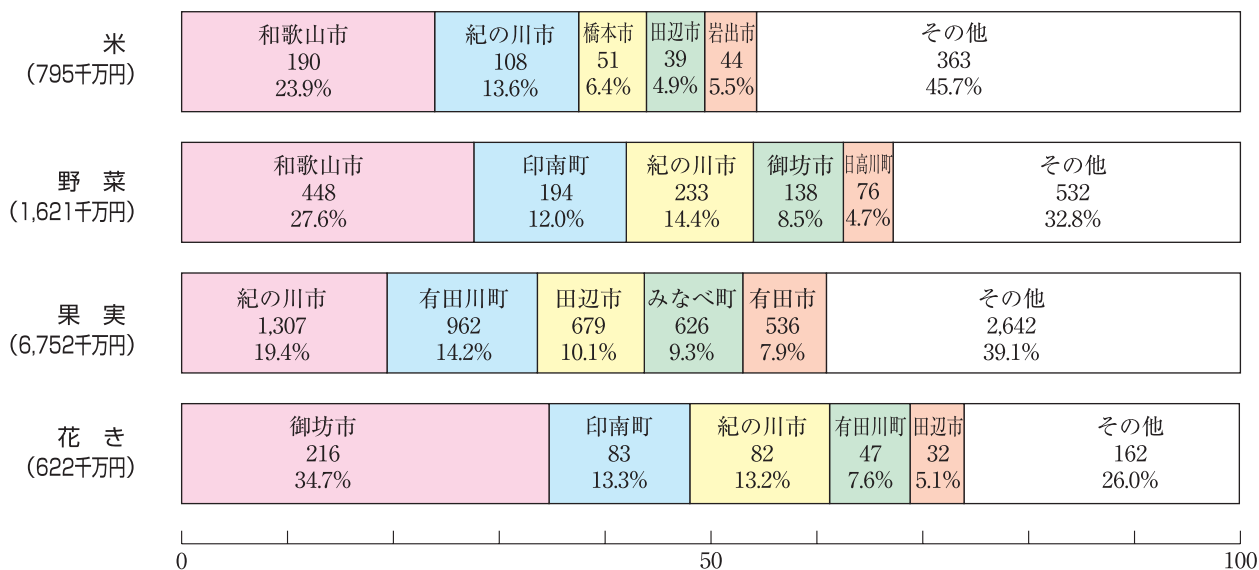
生産農業所得（県計）の推移



生産農業所得（単位当り）の推移



市町村別・部門別農業産出額（平18）

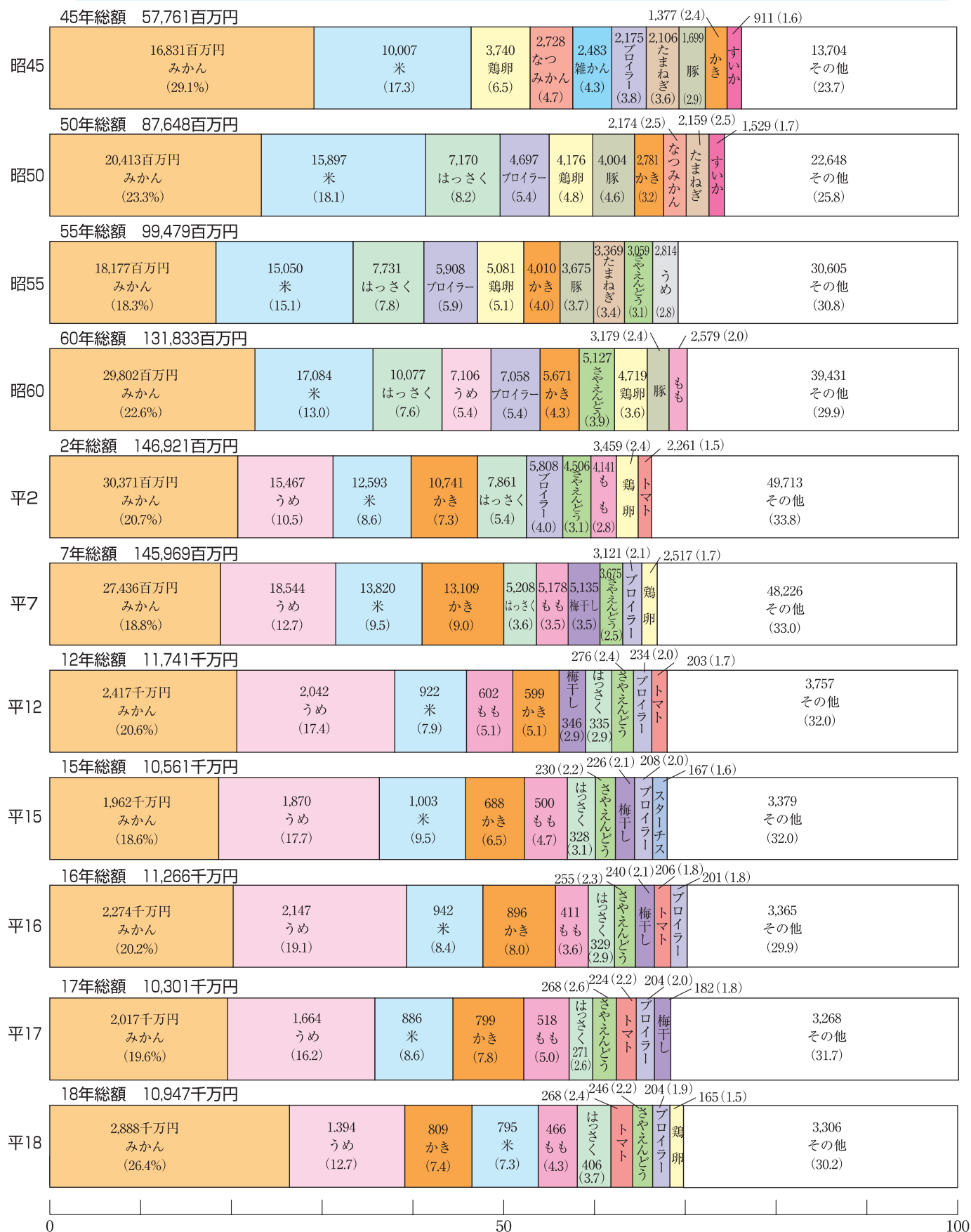


（農林水産統計年報）

農産物産出額上位10品目の推移

農産物生産額を品目別にみると、「うめ」と「みかん」で全体の約39%を占め、平成9年から「みかん」の生産額が落ち込んだ年については「うめ」が1位となっている。

平成17年は1位みかん、2位うめ、3位米、4位かき、5位ももの順。



6) 農業農村整備事業の基盤整備状況

農業農村整備事業における基盤の整備状況は、畑の農道整備47.9%、かんがい施設整備29.5%、区画整理6.0%で田の区画整理は13.9%となっている。整備済みの農業水利施設については、本格的な保全対策が始まったところです。

1 畑（果樹園・普通畑）の整備状況

項目 \ 年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17
畑 面 積 (ha)	24,700	24,600	24,500	24,700	25,200	25,400
農 道 整 備 済 面 積 (ha)	11,937	11,937	11,937	11,936	12,164	12,167
整 備 率 (%)	48.3	48.5	48.7	48.3	48.3	47.9
畑地かんがい施設整備済み面積 (ha)	7,269	7,269	7,269	7,269	7,499	7,495
整 備 率 (%)	29.4	29.5	29.7	29.4	29.8	29.5
区 画 整 理 済 面 積 (ha)	1,504	1,507	1,511	1,513	1,516	1,516
整 備 率 (%)	6.1	6.1	6.2	6.1	6.0	6.0

- ・農道整備済みとは、末端農道が整備された畑
- ・畑地かんがい施設整備済みとは、スプリンクラー等の施設が整備されている畑、及び、水源が確保され必要に応じて散水が可能な畑
- ・区画整理には、農地造成を含む

2 田の整備状況

項目 \ 年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17
田 面 積 (ha)	12,000	11,900	11,900	11,800	11,700	11,400
区 画 整 理 済 面 積 (ha)	1,461	1,477	1,495	1,540	1,554	1,588
整 備 率 (%)	12.2	12.4	12.6	13.1	13.3	13.9

- ・区画整理には、30a未満の小区画を含む。

3 土地改良施設の整備状況

項目 \ 年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17
農 業 水 利 施 設 延 長 (km)	—	—	—	—	—	682
保全対策済み延長	—	—	—	—	—	8
た め 池 の 箇 所 数	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566
整備済み箇所数	907	931	949	984	1,014	1,051
整 備 率 (%)	16.3	16.7	17	17.7	18.2	18.9
農業集落排水整備対象人口 (人)	—	102,701	65,195	67,102	64,019	63,388
整備済み人口	24,470	28,682	29,930	35,257	35,833	40,857
整 備 率 (%)	—	27.9	45.9	52.5	56.0	64.5
広域農道整備済み延長 (km)	61.9	61.9	61.9	64.6	64.6	64.6

- ・農業水利施設延長は、県営事業以上で造成された幹線施設延長
- ・広域農道の整備済み延長は供用開始済みの延長